合即

目價告廣|目價報本 一年年三定等 医

商務

印

· 書館

編 二學期 共和國敎科書 秋季始業用本

白

刋

例

中維亦作頭等質短行大學工程以後每行大學工程

行按字頭質之子,其上10日第二日以後每字大洋三區 五角新聞画像自己的上口日 長行以二百字體碼短行以五十字體碼第一日每字大洋五區 收大洋三角不有不扣以二格為限多顧不用 1990年上口日 即到面售白以隔行體碼

編秋季始業共和國教科書

明購書者只出二册之費可得三册之用

·學生用書三種每學期為二冊第一學期為

均售價僅上

等小學之修一一三三學期

會 學 挿 下考 軍期 工 廠陽 跟歷 凡九

題月

冰學者

可時

向本校名

强烈

李野前隨時

報

魏名

角分角分半角角456分角分角分分分分

角角 角 角 角角角角生生分生分生分角分

National Herald

國籍的教授法

新算術教授法 國 教授法 闘新國文

們

大

學

朝

學

掐

生

廣

告

関群章者

有向本校函索可以 與科招生前已 於歷九月十號開

通

銀

行

啓

元八浦

現十口

已九分

止號行

免票七

各計月

界龍十

箭洋四

勿二日

收萬所

受六出

此千第

佑七-

百百

五分 三分

角三

五分

圖新算術 醞蘭新算術 圖新地理 國 國新歷史 教科書 教科法

七三分分 電腦新國文

書目列後請爲 闘新修身 **科書最為便當 特部完全審定**

Jolephone

00

海售如不包氣外局 下能急馳燕生 數限咳名醫除 萬全音相除 總種國實五一用藥 **經**價各爲十切凡功 理均大無年喉傷效 克藥上來症風神 己房上治稱啰速

时 銀

海上 四 康告

壽

林

置

車

馬

者

變

便五百元爱馬同好尚可從廉合意者請與神州物燈臘爛燈應用零件俱全今因物主將赴他華志聽快毛片純潔品格高骏絕無眼生等劣性並

此

次

内

亂

2

利

五文僅數共國則此次五文值數和憲昧次內軍法則國際大局與新於世間

静治 四除函請 跋公司 **職章補**國又**先獻前體仁浙江國** 補給外體此聲明顯路股票及意單數

順者簡至本行

均品愈患嗽久

認 物 便郵種二 H 月八年十四治明本日)

件野之券立號掛准特政郵

fall to to expense and an

肚京俄使克爾彭斯幾氏會於上月將對蒙意見通告我政府 俄國近 日對蒙之意見 旅歐記者授公

各全 **約**非局外人所能見也茲從俄國官報中譯其大意如 笑於旁也。

範圍過 之王公制度乎而 以此。 二字 步至俄蒙 之望拘泥 識不 變更則• 里。 形• 式。 與 母

互°中° 與其• 表• 力。 爲• 出· 根•承•屬• 權•條•爲• 定。誼。 基• 俄• 即 俾 .再。此。 國• 之。 開。事。 美• 權• 意•利。 談·得。 判·有· 首部我矣逝

來有識之士

次

計艱難凡屢大之革

移其如 此俄使 蒙古交涉堅持 國•四• 政•中 府• 豆之 4. 蒙古之利 後當再 光急注 機協・ 益· 問· 爲異日。 於此事 告• 題 及 併。 之。 新。 予勿徒為 一內容也觀 此 一內容也觀 此 狀• 整· 上· 地步我國。 生之其他問 之争使

歎裁兵相 令則 即他無職業者 意之也隱 途根本上之解决要策辛**亥**茧。 放為政治 局善後音林 П 於此等 不必 爲。 奎 一次兵事既

翻湖清同蓋以中 今命叛 後之情形固不 人口衆多 總統及 議院 者宣布罪狀餘 議員竟多通匪者

議員通匪者甚多袁 將議員中通匪數 烈鈞 尚有 有 各路軍統均 消其議員資 心。 概優 那寫 從嚴拿 僅 有電 格問此 日前 情節較重 **拿辦**統 承 黎副 咨

題兩 被顏色之眼鏡也夫中國實業界中人旣不贊成作亂則政府之力能不亂自。。。。。。。。 可謂已應于時勢之適當需求也而記者同時對于勇于攻城 佩事善後有若何之宏謀碩書吾人亦未 **為關于四百兆(譯者按原文為三百兆恐誤)** 不僅爲一計畫之問題亦爲一人材 雖以失敗而匿跡消擊然其觖望之懷枸依然存 補 直所能為功故政府僅僅以武力 戰勝决不 而後法可行今騷亂之分子旣傷于 數有者何之影響耶不奪惟是彼少年官僚兩載以來 普通

國中决非

之問題必

議員對

於孫實琦

多不

費

會拔

同

督聞之須



敢謂已即于實靜苟聞北之西兵一旦退撤者則續行召回。。。。。。。。。。。。。。。。。

風樓為黔軍第一師步兵第二旅旅長此令又令任命葉茶為黔軍第一師師長黃號成為黔軍第一師步兵第一旅旅長韓十三日臨時大總統令任命黃寨於為與謀本部第六局局長此令

又合陸軍總長 段 供 呈 留任命成 然為 東第一師 砲兵第三 图图長應 义合任命秀吉管理新舊管房城內官用事務此合 早稱秘書食長坤另有麥鷹應語発去本官等語食

令機談總理等早稱經將外交部食事許居康胡坡均敍五等等語應照准此 陸後詳 呈譜任命傳輸環為食事應照准此合



李烈鈞逃至

欲故抱悲觀然而袁總統于 在不免終四後來八息 者而 意聞各類 将外交財 将外交財 将外交財 等外交財 兩總長關 交財政兩總長 | 靈塗炭 尤。 提交國 之無 謂 地 袁總 我商

與民

爲出

西

勸

其

同仍 於陸徵 出示安民地方無恙 三 譚督電京湖南 人到京謁見袁²熊希齡因道路² 之人故到 同年間 非託 自 齊之 詞 阻

秘不宣布 年爲期息七厘半 政府 已得 政部擬發行國庫 明交回 至與 但

透北 京電 十五日

歷來公使所僅見足見其在華政績之佳該使離任衆殊抱卸任日使伊集院君今晨啓程回國中外巨員送者頗衆爲 外交家對于日本容留中國叛黨頗疑日人視伊集院君爲極堪信任之良友

延悞 華人無論其爲學生爲商民均將受有嫌疑則 國務 意叛黨一日不離日本則 兩月內訂定憲 日之華人或 法選舉正 其結果徒 由日 往耳 正式事 徒國智

文復 今日 序大亂後議决付股員審查 員 **亙相爭辯**

起經大同府太原府潼關等處至成都爲止現復簽定價值絕大之合同承造鐵路一千海(海州 蘭(屬州)鐵路之比國銀行公司 英里自

加 精 究 角無

歐三 美月 施大 倍样

價目

元全

一年

月大

大洋

洋七

七元

角年

國年

内大

臭洋 日三

本元

-

得角

直

接

NE THE

外华

快

信 塞

寄

不

收

受塞

●特沃斯君昨日代表遠東比國鐵路會簽定晉川鐵路合同 與該公司所訂之海蘭鐵路合同相同資本如不敷用則可 與該公司所訂之海蘭鐵路合同相同資本如不敷用則可 與該公司所訂之海蘭鐵路合同相同資本如不敷用則可 與於公司所訂之海蘭鐵路合同相同資本如不敷用則可 規定籌募五厘息借款英金一千萬鎊此節及其他詳則均

京 快 信

十五日發

一人兩師因警戒口令衝突由花牌樓轉門至北捕廳小日下半夜一時猝聞槍聲問以砲聲至三時始止次日聞 僅傷八師馬除兩名 半夜一南

府山砲台開砲助戰 預備夜戰食物至晚九時果槍砲聲齊發較昨尤劇幕早七時巡警甫上班(昨夜戰時巡士散盡)旋見八師

十二日舞省火車停開晚九時城內兩師結除搶劫十餘處

械十四日午後官軍渡江者甚衆聞張軍留兩營守鎮江餘馮軍長至浦口發約三月恩餉遣散三師該師全部業已檄七時即開館搶劫至次日七八時槍聲未止十三濟晨居民紛紛遷徙是日下水船四隻均無立足地晚十三濟晨居民紛紛遷徙是日下水船四隻均無立足地晚

日

約路 透南京 電

十四日發

均開至高資葡垣一

此間聞馮之部下共有兵三萬名何海鳴恐難問守奪城抵今晨已懸叛軍旗馮國璋之兵全抵浦口三英里上之浦鎭人已送入紅十字會醫院外人產業並不擾動獅子山砲台昨夜全城槍聲不絕典當商店被刼耆甚多並傷及平民數 **复此軍官軍現尙未即渡江** 此問聞馮之部下共有兵三萬名何海鳴恐難問守

快

十五日後

堂及縣高小學以縣署為司令部旁晚有數百人十四日風軍又續到三營左右分駐明倫堂存仁 昨日下午大時僱通濟小輪赴酒由曹家渡登岸鐵鉄生何嘉禄楊鏡谷等六人(有三人姓氏未詳)于 **携**帶槍械出西門而去不知何往

該軍以 秩序尚未大風居民已遷徙 (鈕等又來兩矣閱者注意) 用票購物相率歇業 空各商鋪因

午大時

南翔尙無亂軍然避遇者已絡繹不絕

專 電 十四日發

張 降順此間幸 **寧滬火車**已通 十五 將已抵 抵鎮鎮軍繳 免戰禍 **4**000 至鎭江 械張 情 上將勳於今日 · 象山砲台亦 的解散

南京指日 毫無鬥志寧城 正進取幕府山城内亂軍 方旅長更生趙長振東均受 同張軍攻南京 平。 日内 業經攻據鍾山揚軍 軍第廿 即

昌 專 電

可

攻下

十五日登

糧餉

兩

又微傷刻

一旅偕

黎公言必有中 選舉正式總統 九省都督公電 兩院請速訂 以維大局 黎副總統 立憲法 合十

按原電巴見本報

湖南反正 南各界議定取 **布告叛黨蔣翊武** 家 消息 口 專 消獨立由譚 電 唐蟒等均 據都督府 十五日 息湖 出

盧軍撃● 槍械馬匪甚多我軍只死二 群在多倫諾爾附近擊 庫。 征蒙總司 退庫 匪奪獲 令盧永

約 路 透 廣 州 電

五日發

絡繹不 由龍濟光黃士龍協同控制大司實刊人心性之際,因為戶將由政府賠償損失聞造幣廠被刧約一百萬元現却各戶將由政府賠償損失聞造幣廠被刧約一百萬元現 去商店各公署仍皆閉門人民皆恐再有戰事預料此次彼目下諸均安靜今晨東門之外曾築臨時堡障甚多旋均拆 絕

約 路 透 重 電

五日發

重慶進發日夕將有戰事城門皆閉重慶軍隊已變該城內現由熊克武 佔守 成都已派軍向 十五日發

約 路透蘭 州 電

兩當 近有 **斃且復出示禁止再種**思 道現在邊界稽查頗嚴已拘獲私連大批烟商抵此致鴉片之價每担由 足之人數名皆經槍。

約 路 透雲南電

九日發

統已准如所請蔡將於旦夕出發旗省大局殊爲安體。蔡都督自請率兵七千名由湘省至揚子江協助平亂袁總

統各省都督民政長省議會各省護軍使鎮守使都統上海各 演替對於佩事 之意見通電 网務院參樂兩議院黎剛總 報館整鞭事被

Ŧ

百

入

+

寛免愍其狂愚ロ重人资鄙見如此統候公**裁漢都督**鍔支印 法定手續無以武力相向之必要總之吾國人法律知識幼弱對於**國家大計** 此係 政治上問題不能產入總統叛逆界說之內 欲爲政治上**求改革亦宜依** 其又奚離且今日政府之級敗爲一屆敗官僚派之窟穴固國人所公認也然 兵且日食不辭職不能兵 是不啻以國家為孤注 也今則臨時政府未終結正式政府未產出以少數人之私意見竟敢據地稱 式綠統在即届時袁不被選者倚其特別勢力悍不退城以武力迫之倚可言 過耶則負責者在國務員討食之事更屬悖認且臨時政府已達末期選憑正過耶則負責者在國務員討食之事更屬悖認且臨時政府已達末期選憑治罪約法大總統有謀叛行為田參議院彈劾之至政治上過失由國務員代負其宣布獨立形同則據是謂破壞統一且各軍皆署名曰討袁尤悖于理按臨時宣布獨立形同則據是謂破壞統一且各軍皆署名曰討袁尤悖于理按臨時 商搖焉民國憲法尚未祭訂公布臨時約法自應遵守今於約法規定領土內川桂點都督聯銜通電陳遞利害計已登覽。茲再根據法律顧與憂時君子一 以感情用事以致演出此種慘劇陷闕家於危險所有此次為首發難之 按法懲治以為破壞大局者戒其除附和者流但能悔職能兵似可 以人民為银性開為叛亂

報聲明不勝盼切浙江都督府寒 閉必錄未暇詳確探論以致報章往往誤載用特電達却請貴報速將本電登結隊攻戰之理是種稱艦言必係叛黨有意誣衊以為癸惡觀聽之計動員有 校即其他師範學校中學校等亦均在署假期內各學生散歸鄉甲斷無赴漚 止一次若不再行詳細聲明何以安軍心而釋人疑查衙省現在拜無陸軍學 為浙軍第三大之受誣不遵今日义有浙省學生軍謀攻製造局之說是合之數日之前又有浙軍與北軍開戰之說當經電詢該司令官復稱幷無其事此 復圖據呂師長葉旅長及旅滬浙入先後來電均謂浙軍紀律頗肅其搶掠居 居民陳德晉及騷擾製造分局之說迭經密派要員並銜該處司令官詳確查製造局外間誤為浙軍此為浙軍第一次之受誣迨開駐龍華之時又有搶掠 口攻擊砲台則製造局內諒無重兵驻守似可前往潛攻定于是晚攻刼謠言時申各報館鑒與閱八月十三日口報紀事閥內載有渐省學生軍以茲值涨一一一 上海時事新大共和新期神州 上述三次此為浙軍第四次之受誕矣事關浙軍名署且受誣不 民礁係松江叛軍所為至騷擾製造分局幷無其事此為浙軍第二次之受誣 殊甚云云查浙省一切 軍隊问 渐都督府聲明浙軍受誣電 湖自泥上戰事為生以來 陳其蔚所統六十一團國攻 稱知 方何 致有 附叛

軍官聲應氣求異常歡治查此次飢爛到處煽 地方自經宗昌明告宣告力任保衛商民等均能安堵如常全師各士兵亦已 雖已逃饋其黨羽仍四出運動謠言四起居民一夕數點消鎮 馮軍長及江蘇程**都督指令辦理護 吳電上陳暫領江蘇陸軍第一師師長張瞭然於天人順逆之理現仍力持鎮靜以遏亂萌至一切**應行事宜就近**票呈** 兩少將面頤一切並承碼軍長委派醍副官家薩南來悉心商権意見相同各 九團明團長羽林第十團黃團長廣源前往固鎖晉闆馮軍長及邱總鎮施李 江蘇第三師張師長通告浦鎮地方安堵電 恐現在黨魁

翻

晚柱繁城北有城東之兵來攻墜在城內交戰城內獅子山仍懸亂軍族號 山即開砲向富貴山之亂軍蟲擊三十二族之兵的五百人是 南京于昨日午後開戰先由張勵先鋒隊佔據紫金

生沿江各省相繼響應中原椒提自召瓜分愛國者皆有陸沈之傳錢前 **秦議院**定於今日(十五日)會議總統任期及選署日期 李議院,今日提議取館張繼陳其美謝持三人之議員 孫寶 琦不允任外交總長

據成都消息謂該處頒 布戒嚴令現因國民黨反對中央故該 (以上文匯報十五日北京電)

軍之一 第一師者照龍海光限於十二小時之內退出廣州據稱此次 亂事因龍火焚暖 現在廣州軍隊多反對龍海光昨日各大街被搶之處甚多閱廣州 後面砲台之粤軍互戰砲台縣砲轟城赤大損傷都,替見者被 能 兵 從 廣州 與 香港 之 電機 中 断星期二星期三兩日唯五府塔之兵與不往故川省殺起恐惶聞已派兵重慶而重慶之兵聞已向成都進發 然報紙皆已被禁人疑尹昌衡向為革命派此次回川嚴籌邊之任在雅州運運 部分向為海盜為粤軍所反對故起衝突

(字林報十四日香港電) 透

十四日發

必較初料為大中國現因國民 有賀兵雄已乘某船前行天津路透代表曾京前充孫之書記宋某否認孫氏現與國民東京國民黨代表來訪孫逸仙孫拒不之見 黨分裂草 訂憲法較前爲易 8將來總統之權 (黨有關之說)

以為戰餘休養之計中國叛黨領袖之由東京等處來此 中 均冷淡遇之黃興與孫逸仙似曾 國叛黨之行蹤與常秘密或 如胡漢民等赴各名勝地區 秘密會晤

約路透 東京電

秋季開股東大會再行選人 中日實業公司理事王一亭因 华 退此 席現擬暫缺候

編 輯 陽

倒

黨

亦知愛民耶

▲爱民之死&非爱民之生也

見愛之故途不得不死順戰將軍愛民之結果也 愛民如 流雕家產蕩盡奄奄 死者幾許餘若廣州重慶等處又不知當死幾許而 何海鳴等重在南京獨立俟張馮軍到必因愛民而捨衆先逃 可預決心江北之戰死咨幾許江西之戰死者幾許淞滬之戰 也柏文蔚之退出安慶李烈鈞之退山南昌亦爲愛民也。 今則。 亂黨據守吳凇砲台時某逆報大書特書 是之深也出斯言推之是黃興等之退 一角吳淞逝水流百戰 一旦東手 以愛民之故不得。 待斃者更無論矣嗚呼。 愛民而退• 不。 小民骨肉 京爲愛民 此皆百 即如

新任何務總理能,希節定於二十日抵京者四十一票反對者十票任備後復被暴者可連任 者四十一票反對者十票任務後復被暴者可連任憲法,把草委員會昨日投票議,決總統任期六年同意

陽分歷行銀預十 分行八務行備萬 行經月乞所金未 經號底各院全來 台南谷事 理理清分鈔由者
一种使幸經院
一种使幸經
一种使 巴巨凍協公自為 伊理理家由外 明結先以提供 理分所册担留属 徐行請至保經加 即不家 對實子 化以循行 老受以線 聚酰氏理 宜章不行欠假司孫含行 城朱敢各行仍時公章由 教育機能を関いる。 分楫憑属之由改去為孫 前听行舞 文有至羅 養安大網 華江通報餘孫盧性督君生 學撒誦苦 行實行作理長代取一南皖 駐 經准宜一理消仍為時 景観卒况 名行過在 建 長 政 政 政 政 所 液 源區協以荷面追置舊總組 情准理昭理由及事章理織 理分間大茲孫皖除至齊成農行戰不認省信息王君立 宗倫先 著事符

大藥房或洋貨舖均 藥清 快 價大。

全全全全全个 大角三角大元 分分角分角角

栄房

版為有色

狗頭 老牌清快丸字樣

諸認

鑴

防

假

冐

清快 毒不服の目思 醒●過眩疫 级等量食 @ 置一船過胃率 有切 时 飲 院 中 起 危 車 ● 溜 骨 死 急 ● 中 飲 倒

每相塞盟方神谷其分

課化 剪

腎

無一害而有百

DOANS BACKACHE KIDNEYPILLS

山性最和平服

刊告痊丸味可

(服定

洋一元二角每打洋十二元各大樂房均有出售每瓶大 也患者請嘗試

上海江西路皮字景兜安氏西藥公司啟

兜安氏大醫型合變久聞 **党安氏秘製保肾丸功效** 保腎丸一打按時吞服連日以來大見功效器恙漸覺輕鬆飲食幣爲增較加疇 頓情狀非一言可盡述者延醫診治終歸無效今夏因公回鄂在哪省藥房購有 之無不及也節人受此丸之益實非淺鮮亦足見 音遍乎不同追服至牛打居然精神奮發血氣充磷體魄之强健較之青日有過 散百病叢集形容枯槁寢食不安每值公務稍繁而頭昏目眩四肢無力種種困 歲至汴就京漢鐵路稱譯一席歷年以來路事粉繁東奔西馳勞碌遏甚心血耗 大名录克親觀深為歉仄鄙人在那供差有年於壬寅 證書

鳴鰯敬精

武昌城候補街耶家巷諸鴻頓首

大醫生濟世活人信非虛語 圖入無以相酬並特畧陳數語聊表區區之意專此

病之萌芽 腎濕乃百 最之起點 背痛為皆

尿酸毒質爲患耳

腎虛之症不宜忽視因其

年富力強之男女爲其所

、身最爲利害往往

光安氏秘製保

是皆腎虛不能濾清血液小便頻數腎炎尿淋等症

告髂 如五功酒 治豐開 示君 有角效刺 男者關 方每 不單神〇 女詩一

 第 號 歌止瓶一非如山 骨帶照**被他**冰人

强反生族健康相 二零丹半律為配 元之此〇番强製 建島丹另絡雖成

後醫髮如四

胎冷大年換不力夢園其本屋

此久颓多扶墨服遗一性草言

是不四子昭騫則滑切大云數

功受元多利而立精諸為海人

局威霆壯黑幼時

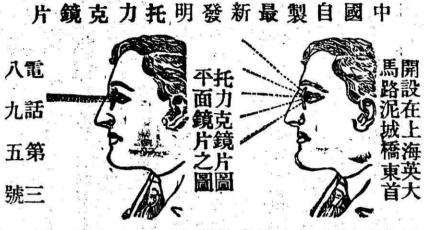
個孕期陽最年可 防武法鄉轉臺股

作孕白身老田亭 界歐带種還種治

丹靈ध無

不

靈



德 行

片鏡形灣學化克力托製創

唇雷從間性浪譜發式之有個除小亦至驗別擅者博之有海 世金俁可色曾人客處為付兩至西長一而欲西 **家士勿**光往貨速無最而英文起之配自光諸小明正光眼 軍費草務往非擇美新所語不見便鐵五其君行光醫者銀

燃 海 人

仲陸天處士為劈見此爭仰佑各之人皆補國珥西現蓄係污共 一備迷君係人來中特蘊新在特信期苟實致學除緊 有路觀凡信先丁民天央按茲律順著過觸不行前母迷造 山莊堂也維敦明所新異贊代國原染燃法通西宇頒而君盪 同 法寄料题關答之教成於發體使犀不兄教根新律經滌 戰 智界 曾之最於其福之信不基用人一足中原豬律根神舊

愛造自明

瓦贝配贝贝贝贝贝贝 珠 命令光金金金金金金 聚 國仍赤以 金金光金金金金金金 緊 貨可金上香手眼小光螺各各小金真洋紅 銷兌製之烟燭鏡☆素絲式樣挖 理登耳 段話 指壓耳別插耳 页到 路換造價嘴 格偷钩 金石 外有是 tri 克用起 每每每每每每每每 每 每 已舊碼 只副副贝支副贝贝贝 以不但洋洋洋洋洋洋洋洋洋 70

路以外門關州離設分 四零七一話電 口賓路馬二點馬跑海上

治 酒濕袪風追草百骨虎油熊正眞

號海效變來過屢滯歪鱗精變到風節直望入內理治營與拘憂風 洋抛尤料大者試等邪中軟石詞溫之入風圖非整往衛廢擊渾溫 百酒惟丹骨年所田不屬四 故積輕樂堂所經會延氣则而經 路設料一不失詞血口履腰凡能聚絡力所能絡畫醫虛移麻絡

两有堂族

河盆灣病

南茸世尤

路芝松妙 抛术資在

球母為性

毊

戲好手斥演准戲日五十月七

(李李月) 盖 (八) 和(楊) 四月小學(宋) 即陳金小

角三扇包層三角二鷹正等二角三鷹正等頂戲日五

他 本 王 () 云 沈 李 王 應 萬 (小 (小) (並 桂 東) 柏 / (小) (並 桂 東) 柏 / (小) (並 桂 東) 小 (小) (並 桂 東) 小 (小) (並 桂 東) 小 (小) (並 桂 東) 小 (小) (並 桂 東) 小 (小) (並 桂 東) 小 (小) (並 桂 東) 小 (小) (並 桂 東) 小 (小) (並 桂 東) 小 (小) (並 桂 東) 小 (小) (並 桂 東) 小 (小) (並 桂 東) 小 (小) (並 桂 東) 小 (小) (並 桂 東) 小 (か) (並 村 東) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) (か) 角五廳正等頭戲夜五十臺舞

角七照別特角二樓尼三角三鷹正等二角五鷹正等頭戲 龍 白 打 花 舞云縣美橋 灘水 鼓花蝶蝴 圖畫和 案

○ 圆 茶 明 肇 辦 商 中 路 召 〇 (戲 好 手 傘 演 准 戲 夜 五 十 月 七 歷 陰

邱邱沙夏夏夏毛王周趙 治蕊香月月月韶洪風女 雲卿王潤珊恒珂春夕連 月德香 珠森 華爾玉

全後球但效 消無說示自

樂論坦知分

力聲亦果再 之程亦有再 大聲達神世

厥和小效為

功人敢與人

级十分疑受 既年鐵信此 前蔽證之可

有塞如間聰

统一山以之

復旦團節職

生開君鈕矣認通勿君以

財家疑鈕惹 人僕大闆 上面即力無

從人以紙始虽氣滯下耳 關盒應依得重鼓竅潛鳴

如做者外領之邊穴雙之

演合員整名著原特 [1] 屏翠雙 罵 樹林海 甲教蓮目鷄偷遷時廣楊報屬珠

見補血 **芳**種種 而毛無 色血人 知其血 不消 不 之血病 諸種 痛陽經 化氣虛肝 一點之來源血是怪慘淡之氣內一 之患內部 之滋養劑實 故吾人 虚也 精胃 白 陰 旺 五破骨氣痨金痛虚 種 七吐筋肝 血酸旺

之谷 悲則 除腑 外而筋 往骨 V

樂時滯 包 不刻佐斯 他復母症 粒常臺 方法 一元每科廿世 東北郡子央 斯 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 外那精為海

堂藥房真正衛生 首壯之極 易酒非常 大市服 10 四貫能 元名量 小仿循 **私**售肌 二**亳**牌 元無光 雙實潤 料贴面 加者目 倍可堅 取比强 效一筋 更試實 妙瓶尅其轉極種為虛本不 對元之力為損弱功勞較如二軍外陽强之無力療海順 元料尤氣夙體子更人狗以

一秘資欲 充 肾 强 白 無 四一典之疾一等大所腎質角元陰强盛服病凡共爲質

身連穿妙料 轉脫腰 一 關落血 内 虚 丹

验夫

遠彭

一獨

試秘

便珍

知珠

〇熊

人種

同參

の治妙楽専治ー切を

室栗房舗歌上海加球を

加循

室到

醬

-dr 32

--

寿 根屢試 元 小獨根然痔

與服各翻悟時話被不息 如七點以大但發阻平泪 元 呆八番見意見當耳有乎 正天所列朋人不鳴時壯 不聽指南輩之難不懂年 曾旁功路让嘴復已遭久 冉人效七來動我發肆困 生言與號旣方原至週場 **尤語**有彭形知聰失在屋 妙似確釋不其熟地呼家 取 在曼瞪堂便人知自鬱道 精清量耳地之任知勃式 力亮等雙方發服受之做 日至虛九肚言何病氣所 半經廣會一樂之直謀 外 元月囊告謝片終源冲戰 用 身附不一絕糊無係牛左 體具署則不塗轉由斗而 可

間仍 門單 面上 雅 路 香 宴 像反面五 敛開 所畫 歐國 秦包 仍有 在北京路標 里為

產胎出速五多 分害天將叛逆 南意我內三數 京○不連十七 牌海也股種 多科完齊 弄母好去?

林二初骨上

路 **高有護持全身虚型人欲望精神身健必生** 一酒色烟癖皆足以供 虧之源究從 \mathcal{H}_{1} 力首 虚弱之功人造必先以保血虧而被 何 血健胃使血力強旺 心先以保血為主足以使血虧而轉生虚 以使血虧而轉生虚 以使血虧而轉生虚 每打二十元 小瓶一元二元 大瓶二元 全所謂 元二角

五人班須 五點 换 每 海喜走保聊 河出问之往**亚**勢平月不傻 南望貴近訪畧愈肝累數自

象俱九盟頭高一木之形致 較四次報呼分元室之有

模型雙落黑紅

据開拍工人 喜風之 深水以本是 粉起一 知化通過其目 也 元

設年九永之能會各藥切功

彰元質一·兄氣雖及以樂十 壽單極料少克白吸滋能年 堂料宜可年盈髮烟補補 之

正雙陽不愈九為年茲陽力海科與首老立應屬本生氣

有二氟可念刻效委堂精極

腎十虛知健精無少取補大

每<u>瓶</u>鱼倘後神比年其腎一 條三虛能關百最色精益 十十等連繁倍奇傷華氣 行 元大體服聲腎者以配塞 **瓶創可得瘡** 二與永妙雖 元旗絕藥仗 雙胆本外內 料痔堂沿消

舒低牌所通聲機肝蓋一 獨官於說求音甚曾性班 疾养不合義窺時致而利 然月冒恙少其病求積前

館料治海里 第一择十年 路近翼危: 一**信集名**《 百樂出智》

榮廷 対日宣布獨立見七月二十八日民立報廣西電(接廣西全省 ▲廣西省議會決議與袁政府斷絕關係已請陸都督 謠言彙覽 要 (三) ▲滬濱閱報一份子憂天來稿

▲鄂軍擬俟 武漢事定一面 進攻河南一面迎撃在▲鄂軍已有四分之三宣布起義討袁現正圍攻漢陽 安體前已辯明)

視無效今聞鄂軍起義 ▲黎元洪 忽染奇病 終夜囈語喃喃 延外國醫生診 **淨之袁軍勵其歸路** 及湘軍入鄂警信病益加劇

月二十九日民權報返口專電(按此數日該報等选造武漢謠言連篇緊幅不 不日府中將有危險我等見機而作以免波及云見七 4鄂都督府顧問參議等員連日逃散一空對人言 外間傳聞有自盡之說

已 逃見七日廿九日中華民報信陽電 (按白狼確已擊斃占領荷南省城秀 常是狼之魂耳) ▲白狼軍隊 業已佔領省城 聞張鎮芳已被殺或云

徐州電(接今張勵究竟南行抑係北向閱者辨之) ▲張動已統兵北向圖占濟南見七日三十日民權報中華民報

華民報灣南電(按今日說你逃明日說他逃其實不自逃得一個但見黃章本 《張勳日前帶兵至濟南陽與周自齊聯絡現已據有 濟南自齊見勢不住已預備逃竄 見七月三十一日民權報中 **陳輩紛紛逃去加旦可憐可憐)**

報

H

州

騨

日

領現攻武昌甚急故袁軍全數由段李調回接鄂 ▲九红全部確已爲民軍占領 以上兩條見八日一口民權報南 ▲九江方面近日已無袁軍踪跡聞漢陽已爲民軍 占

歷

丑

七

兵士半屬 李純舊部又聞岳州 已有戰事 鄂軍悉數 調赴前敵武昌軍備空虚見八月一日民權報中華民報漢口電 ▲漢陽已爲民軍占領 現正力攻武昌 聞此次起義 ▲張動軍隊陸續北上大部已經過濟南見八月一日民權

▲頃得確實消息云漢陽兵工廠已入民軍之手 一日民立報中華民報派口電 見•

五

+

A

船避入租界聞囚王安澜率襄陽討袁軍進規武漢 聲容甚盛已於昨日(三十日)攻破漢陽之故見八月二日民 |今日武漢輪渡不通隔江||居民粉粉以重資僱划

(六期星)

介報 中華民報 澳口電 (按□王安瀾尚自前征湖) 武昌聞黎元洪及都督府要人均於是日潛逃 前日(三十二)王安瀾率領襄軍攻破漢陽現正力攻

> 手黎元洪 已為部下所殺或云已逃 見人 ▲漢陽全部 確為民軍佔領現正進攻武 ▲武昌省城 現由北來軍隊 駐守民軍

路已絕無心作戰均已自行潰散岳州 應故武昌指日可下見八月三日民權報中華報流口電 ▲開往岳州之袁軍 因聞武漢軍隊 已經起義知後 民軍咱日難

進兵援助鄂省民軍見八月三日民權報中華民報漢口電(按可聞 ▲白狼聲勢甚大 河南全省 幾入其勢力範圍 現亦

者又連戰連北武昌指日可下見八月四日民權報中華民報漢 ▲漢陽民軍進攻 武昌累戰皆捷袁軍之抵 拒湘軍

▲ 漢口軍隊宣告獨立舉 某連長充襄陽討食司令見

▲武昌兵士反正黎元洪被殺袁兵紛紛 日中華民報漢口電 逃走 見八月四

民立報漢口電 入武昌袁軍逃亡殆盡黎天才已進駐武昌見八月五日 人黎元洪死於亂軍中昨日(三田)黎明民軍分數路女 六時佔領 龜山當用 巨砲轟擊 武昌袁 ▲黎天才所統 宵軍全體反正

日午後六時 佔領龜山當用巨砲轟擊 4黎天才所統 省軍全體宣告 起義討 袁于八月一 武昌袁軍死

一空黎天才刻已進駐武昌以上兩條見八 昨日黎明民軍 分數路攻入武昌殘餘之袁軍逃之 月玉日中華民報漢

昌見八月六日民立報漢口電 與麦斷絕關係見八月六日民立報等商軍 ▲軍界對袁同懷 義惟已敦促省會 淶 (按) 南全省至今安然点 行决議 獨立

潮湧黎元洪事 前稍有所聞故已預行 開砲遙擊武昌城中飛彈紛紛跌落頃 因在黑夜 《三十一日晚 十二時漢口槍砲聲忽作 徹夜不息 時鼠避洪山後 即遠颺其揭反正之旗者為黎天才說已死 佩軍中才失享人——— 說已死 亂軍中 領之江蘇駐鄂 居民莫測所自 黎明乃知漢陽龜山民軍 未知孰是惟聞內務司 第一師事未發生時 長饒漢祥當 刻間 遷徙如

除俱表同情故成功甚速見八月七日民權無 民軍佔領武漢後 秩序 客定現由黎 淡口電• 人才分兵二路

昌聞已得 万二日民權報決

以高臨下佔勢頗優且聞武昌城內之鄂軍久思內 出漢陽進攻

兵武漢會師接輪 見八月三日民權報中華民報英口電

確于八 軍死傷數千八月一日午後

傷數千人黎元洪亦死於亂軍之中

▲黎元洪被則身死下手者係一護兵黎天才已據武

軍防禦豫省袁軍 軍 堵截發省京軍歸路

TAR. TOUR MANAGEMENT AND THE PARTY OF THE PA

督逃逸確否其實此間異常安靜紙幣價亦漸高據 (六日)上海士商紛紛電問粵音取消獨立及都 督署確信陳總司今展電**週某君有粤安字様**見八月七 日民立民權報廣州電(按此時陳炯明確已逐去兩日

▲各屬聞武昌已為民軍攻破一律響應見八月七日中華

楊以德均遇害金鋼橋以北均為變兵佔據聞張家 ▲昨第三鎮兵以不服陸錦節制為詞全體譯變陸錦 口有民軍 數千人同日響應 北京空虚官民 粉粉筐 央命令毫無變動) 走 見八月八日民立報天津軍(按京津一帶至今安然無盡第三師服從中

與季雨霖舊吳相合痛擊北軍 反正時皆表歌迎 日來已紛紛投入王 安瀾部下以 ▲武昌軍隊 前因憤黎元洪之重用 北兵於黎天才

以上兩條俱見八月八日民權報漢口道(按此一大篇鑑言十有八九是說武 淡鏡刷台不暇一一案節但總許一語曰癡人配夢而已) ▲黎元洪衛隊由黎天才給資遣散其管帶已往上海

●贛亂聲中之鄂州 (十四)

王隆中 ·鄭中山将確信湘省 亂軍駐紮后州臨湘者其總司令為 △八月十一十二兩日嘯雲通信

之南北軍隊概歸兩司令直轄之 ▲政府命郭人漳率兵兩團速由鄂境入湘平亂 惟姜現尚在鄂山黎督任為水路司令官駐新提蔡 A姜桂題已任為熱河都統留 鄂毅軍歸 趙倜節制 漢卿(鄂軍第二帥長) 為陸路可令官駐崇陽 凡屬防湘

▲黎督擬增兵出泗江橋為湘戰之接除 ▲嘉魚縣赤壁山將置電機以通消息并設大砲護之 ▲黎督以新店人烟稀疏重山可扼疑即劃定新 店附近

均已開赴蒲圻 ▲鄂軍第一師機關槍隊三四 兩連及砲 除第三團

◆黎曾命陸軍小學校校長與元澤府 學生槍械 子彈 一律

▲黎旨决以留 鄂衛軍政為鄂垣發備除黎天才為隊長

見八月七 駐于武昌城之丁模司令部即設于此

者鏖戰於賴克復德安其勢益盛十一日 立即令其開往嘉魚駐守 ▲東省混成第一旅西人評為 中國第 ▲食克定將至鄂垣面商黎督而後親赴實蘇圖挽大局 ▲蕭國安亦率勝軍 五千人自 養王鄂即 由發王鄂黎哲 一之勁旅頃 奉令開往

亂軍忽於十日清晨一律退去市面安堵 下十里之張家祠官軍扼守要塞準備交 ▲據羊樓洞劉旅長電湘省風 軍約一團 **戦而湘省**

陽遠安一帶的項斷絕搶掠度命所憐可恨 ▲王占元由**赖至**鄂即赴新隄防勦 A十一日有 惡兵一營開赴資塔洲保護該地稅局 《劉鐵叛軍屢次潰 敗殆盡今 僅有百餘 人流質當

▲王天縱前率北京近 衛軍第二師 赴皖平**佩**十□率 **願率精筑一營馳赴鍾京助殲醜類繁昏許之** 領全師由院到鄂·B見黎督十一日即開除馳赴蒲圻備戰 ▲十一日下午**斬**次匪徒饒雅漢陳耀 漢田玉 旅長徐鎮坤由沙洋電稟謂沙洋廟清留 ▲鍾祥京山被匪佔據黎督已派兵往聊十日 兵駐守自 運動軍隊山黃友明

魏際隆五名皆應首派至武漢設

立機關

運動軍

以謀不軌者也

張 言詞學器已奉都督命合於九日午後二時 柳赴 營防 口上法軍除經偵換擒獲交軍法處審凱明確并搜出傅單一 百餘 軍事主任栢鹼血陳釗三人有捕獲者各 黨已聞風遠颺與方懸賞購緝該機關部長 炸彈及 機關槍零件又銀一萬六百餘元 十元不等又有匪徒名册文電二箱亦被 七千元署名黃與僞紙幣四十八萬張每 ▲退伍軍官王中明受亂黨后 使到鄂潛 散傳單勾結 出來往信件百餘封當即押交審判處凱辨 ▲九日斗級營某客棧 拿獲匪 犯楊桂森 一名贵州人抄 漢口日租界內凱黨機關抄出鐵櫃六具 **滙票一紙** 拽出惟匪 賞六千元 蔣文漢及 張一元至

樓洞鄂交涉員竭力阻止並開派往之後如有損失民國政府不負 ▲駐漢俄領藉口保護茶商擬 調軍艦 及陸軍赴羊

触精 幹值探 數十名 往駐戰 地無線 電附近地方於▲漢上四人以鄂湘戰事於恐不免現擬頂備 堅快小 火輪數 戰時真相隨時馳報

武昌亦嚴防火災而城內外屢有火擊幸皆不甚烈其果失賀厥抑亦隨 ▲漢口保安社定於十日以內學辦消防除以防匪徒縱大

▲漢口商團已組成商警千名維持公安

(IE)

服車裝 附和是則不無可處耳 政處人民之歌騰自不待言惟常 省京浜鐵路整備總司令)即于八月 城等縣再由各該縣駐軍派人接送谷遞原籍以免沿途遊場諸凡完善商民無 縣柱軍相機 送辦即於未刻將該犯官對風同 余文會槍斃示 後全數調集宣布憲分該軍尚留唐二三百名俱無錦城秀已先期專差飛節該 城北關外之琴室香院四無居民今日午刻先派各軍把守該軍駐所要口一城北關外之琴室香院四無居民今日午刻先派各軍把守該軍駐所要口一 同營長余文會及士卒六百八十名隨調來魯 飾鞋縣 **秦** 士卒六百八 藉演戲為名謂該軍 匪正猖狂劉軍兵力尚厚涤然一發勢必關入匪內是兵 ▲唐縣五十九團長劉風同 抄家視同見機関得編為 律收回委派魯王暨長相臣韓魯長鍋麒立刻押解出城送往南召方・ 其心關陽前敵以劍其氣便之入我空節万不致有他应電合 赴秀管次際院分其勢力一面派隊繞道馳往收其槍枝 名由鄭知事等墊銀五千兩分給川資班各給便衣一套所 據王毓秀急電略云毓秀选奉電節辨劉軍維 me張督密電剿 陸軍連駐新野唐縣祕陽等縣行為更遊愁 日整理軍隊剋日旋許秀則獨身返省 防職務已盛火蒙季司軍務(按即・ 常城破時 吃緊之時難保該 一造除而轉增匹勢故

B

陽開一面嚴重明認藉安問閻一面派吳追擊進佔五里舖 渡河一面 旅長 王鈺錦前 射 士數十名由我 混成之兩支隊兵力約十 領上 楊腦集探悉逆首岳相如龔振鵬率步 又在此岸盡力掩護賊後方 向賊右翼猛擊引其兵力集注 親率步隊各營 漸不支勢將退却旅長 頗烈我軍過渡益難乃 三十里舖之綫 往截 右翼游波過河 堵 與軍意圖北犯 用小船奮勇渡過既登 頃干有追到省報提客稱 營 設計 即佈 既受繞攻前方 右翼我 -留兵掩 復正

勸伊

又受猛擊 **奮勇軍** 號拂晓 馬砲工 H 三號到 彼岸賊已退向廬州方向隨於午前十二點克 其後路 **魯口之後**中隔沙賈二河旦匯淮河之流水勢大漲過渡不易 隻佔據正陽關 ◆皖属網上等處毗接豫省前有

▲前数 : 開王旅長毓秀返汴時 道經郾城附近竟敗於 木遇難足做此事之確查 洛河上遊二十英里當屬舞陽 時疑係傳聞之說頃像汴中某報鄭城電云前日王旅長在螺 地方被匪圍攻死傷甚多王旅長

處焚燒 苗村橋 徐宿南軍均已逃盡又據南京縣信內稱黃與已晚輪東逃該地迎程督回城取 元
 元
 宪
 宪
 元
 宪
 宪
 元
 宪
 元
 宪
 元
 宪
 元
 宪
 元
 成
 等
 四
名
 排
整
示
衆
弁
後
成
成 逃散ま、受傷一名食飲用經濟數次漸見掃平一俟淨嚴再行請賞な探報 封都督察前電敬悉二號 董管帶與匪 等三名獲斃匪黨馬士元等七名正追 哨官將于彈運到分給千 該房槍斃餘匪沈分於 已到不戰速逃被斃甚夥尾追 時餘子彈黑多· 英即行出動・ **多匪約四五百人** 出版守壘對射直至黎明 乙。 兩路夾攻斃 ilic. 接仗後 接追拿 鎮茂冬電云風 馬二匹 **匪首郝憨子** 既能少息適石暗徐・ 於三號夜攻 收兵 在苗村 獲匪首馬四 至匪孫行窩 **駒間聞沈分**

州又破獲亂黨際關

之徐森龍二名詢供 均係受上 海风首指拿獲同樣作風之白衣寺警察蔣永潮及 搜查拿獲多 得其靶子門水城門上機關搜出偽旗偽 姚文貴並巡警童如 何已經夏避長凱實矣 歌一張一併呈送警察處長察核聞蔣徐二祀

郊起秘密結社希圖碗壞公安各 過破壞浙 杭州臨時偵探隊長林文忠因訪有杭城秘密機關特派 等同謀不 犯現已將破獲之蔣永朝徐森龍二犯並旗二張印二方照 **諱**因此案破疫意 天 隊 聞知亦即將 同案機關 蠢動由憲兵 第三連班 標吳載飛 張彬買綫 探員 姜有 長金耀運 印照號並 爲首發風 使來浙意 值及

义省垣第二營第三分署員重光斗于本月十日訪問 實善橋 地方剃 送警察廳核聯惟營費內之陳清係 第五分署 警察吳重 拿獲解送警察廳長核師 **急厚仲帶署**凱供店內僅夥次二 頭店內設 獲有陳清樓 店主乃敢為風黨作機關情節甚為重大當將書書 來取等語該署員以徐將二犯 區四 有秘密機關當即帶同二等巡長及香祭多人前往搜查 毓楨 吳重臣 龍的朋友蔣永潮放在我 察均由童光斗電商各 人並無別人來 因結合 這幾 張條子 並葛厚仲呈 處叫我代藏 張い野談店主 機關業已逮

②京江 級餘錄

餉由徐寶珍師長墊欵六萬元 自己交交条置诊師長赈其和平解决現文由鎮神公語 美字 洋行《十一日鎮江接程都督電器關陸軍部已有電至揚州張文書長了] [1] 事是赞自我開也兵士為之感動故未開他文學 店三里岡一帶金山砲台目兵與見即 欲向該 安德生君出而調和兩軍已尤不再開戰 排長某匍 A張勳軍除由泗源 自鉤揚所軍調和於商 伏他 門場力勸阻並關現在揚續幸已調和若再起歌· 會議决將三十二族取 渡江 軍開砲忽信 (字質墊該底 消所需恩

正式宣布 成立時統一民主共和三黨議員為精神(甲)兩黨對時之時期 此時期最短 當進步黨尚未 (一)從前之經過 時期(二)國民黨分裂及小氣林立之時期前公號於左 聞而第三黨之發生亦以此爲最初之動機於是嶼民黨等不可謂三黨之發生亦以此爲最初之動機於是嶼民黨等不可能 之勢力逐一落千丈矣此為第一時期 樂從黨議於是國民、黨員之宣告脫黨者 露驗盈之氣行勁值出乎常軌之外其穩健一派之議員多不 下照合東西立憲函政黨政治之軌道惟國民黨但自恃為大黨時 議會中途完成兩篇對時之大觀兩黨活動之程度亦不相上 上之結合 團體非常堅固 議會中雖有四大政黨之名已隱然成 大政黨之局 小時期(一)兩黨對時之時期(一)第三黨競爭之 選擧議長之後進步黨始宣告成立此後 自國會開幕至現在政黨之變遷約可分為三

耳此為第二時期 之競争不過進歩回民兩黨以外之團體其心中無不有一第三黨之小影 然 时之外又添出政友會 共和黨兩團體 而相友會 為國民黨第一次之分裂 當時具第三黨之資格者 超 黨員分孫派景派黨孫派即國事維持會之一部分各 黨之人皆有之景派 政友會亦以孫毓筠景耀月兩派之人物組織而成其 離獨立為一黨 張伯烈張大昕 諸人亦皆以第三黨自居未**幾 共和黨一部分與進步黨宣告分** 位頗似去年上半年多談院中之統一共和黨語為社 兩黨之外並無第三黨超然社當此時期已儼然佔得第三黨之地 人物也獨立之後兩院議員亦有數十人亦勢頗不屬同時 發生主持其事者為夏同龢郭人章李增黃懋鑫 **職人發起之初** (乙)第三黨競爭之時期 不弱兩院議員計得,數十人之多是時議會中除進步國民 過少數無漢籍之人所組織**後因** 亦於是時成立然皆勢力薄率不能爲第三黨 則純全之國民黨也政友會之成立是 脫黨之人紛 紛加入其多頃 図會開幕後即有 鄭萬贍諸人皆中堅 超然議員社會

黨已有不支之勢穩健一派之牙子所存者百無一二蓋已 黨屬盈之氣未深其有全日之價敗宜也當發風未發生以前國民 (R) 區 民黨 分裂水小黨林立之時期。盛之極衰之始國民

旅長由象山砲台官兼理兵士已产全數槍械一併數出至三十一旅仍留鎮駐防 期以辭泉近開上海華洋義振會接致一萬元到鎮井頂備人士組織臨時教濟雖民團 征情經濟無着更公愿李萃春為會長人士組織臨時教濟雖民團 征情經濟無着更公愿李萃春為會長人與華自戰事。生後貧民無力遷徙者華皆隨粥不給現由屬島 谷科劉包以濟雅氏云

一年來政黨變遷大事記

詳紀其經歷狀況如下

擔**憂**奈何。 應忽化為兩程兩應賴倒錯亂好看為人是一齣變包案也其第二事則實。 獨立之通池已四布矣而宜告獨立之傳檄中冒用程應名義如故一程 此次南方之亂以南京之愛幻為最多似走馬燈似電影戲迷雕 場便好能休但吾輩客座中人於此**鄉**鼓喧阗之頃終不**殆**看戲下淚替 第三幕則所謂第二次獨立第三次獨立者紛紛擾擾閥得幾是高興忽而。 剧其第一幕黃與影射程應之名義傳檄谷屬宣告獨立及程應到源反對。 興已猶程應不回偌大南京無人坐鎮如是者且半月是一齣空城計也其 不可捉摸此粗墨其默鹪言之也若為分析其條理則明明扮演出三大戲。。。。。 你都督忽而我司命忽而我被囚忍而你被逐直是何海鳴與陳之臟合演。。。。。。。。。。。。。 一齣十八扯耳今閉幕之期近矣老馮一到只須扮幾個紅黑花臉厮殺一

南京燕湖嘉定饒州南昌命運管不過十日若夫長沙則以黃先生福庇所 南昌讀延闓之長沙此數者亂黨最後十五分鐘之戰地也吾人以意度之。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。 在與其地勢之可以躲閃其霉命必較前此數地為長(據昨日路透電湖 生之言曰『無面目見江東父老』則庶子後之俗史者獨得秉筆而書曰 ▲何海鳴之南京柏文蔚之蕪湖鈕**永建之墓定李烈鈞之饒州歐陽武之** 『癸丑二次革命之役某黨二等黨魁某某幾人死』吾亦請學妆

實行 或從此歸於消滅亦在不可知之數但前此 國民黨開 會其僅存之 之人兄種種新生之團體更無非以國民黨議員為中堅強此推之國民黨 入者元占多數總計各黨所加入之人 皆國民黨 所分裂 日期尚後近 已有議員四五十人此外如 政友會及新共和 使消滅至如何保存之法則殊無一定之主張 黨近日皆有國民黨議員加入而政友會因系統相同之關係加 廣東議員 占多數其餘各省之國民黨議員 加入者 國民黨幾為世所詬病該黨 迭次開會其程健 政公會其中所吸收之國民黨議員亦實繁有徒該會成立 將與叛黨 有關係之人一律 除名卒格於 黨議不能 亦復不少与亦嚴然成為一點矣又各蒙藏議員所發起之意 不順宣告脫黨其內容之換散可知已治黃與李烈的輩稱民犯順 一部黨議員及黨員仍均主持保存國民黨一 || 「一人」 | 東美雄奥該黨有歴史上之関係而情理上不能脫離者亦均毅然 於是國民黨中又 分黨出而組織集益會而 一派主張及早



■観髪餘談

揪女日

養心之效甚大服用仁丹順虛

照

装鏡樂寫圖

忙碌之效甚大服用仁丹不覺

武官日

正於各界仁

一門之讚賞

虫蝕牙痛

元氣之效其大

網練日

烟味之效甚大

百

先生兩大家合議靈方不惜巨貨專握。一上之外将在於廣大 之上丹製藥廠嚴正董督行修废放以其藥效卓越眞稱寰球 丹係日本醫界之泰斗醫學博士三輪德寬先生並并上善 00000000000 精 卒時 癥 履 慮 酒 水 食 頭 傷 神 中 行 宿 痛 弱 醉 土 積 痛 暑 鬱 昏 瘸 溜 吐 黄 船 不不 目 中 結 倒 疫 飲 潟 血 暈 服 消 眩 寒

一丹最大

唱讀前曲書後

治

時論衆酒極眩渴腸 交熱喫矣排止化 際間烟 除喘食

獨步

海鍊

雲大藥房秘製珠黃士

資搜舞丹

治花

元備

瘴除消 粮祛毒

計

復五 定 及 全 大 治 原 息 小 息 使 使 使 使 使 使 成 落 落 落 能一面獨 下之第症 外探取教更的企政人 西藏馬 快八復上 〇元發音 立每照理

每八束化 人恐效治治 心此胸醫問第 上 丹症腹束效一海 曾者糊手之對

就即不險惟本 馬 一整名無效金定元重未不與採遠 〇者成立作得 垍 單一環意呆具正 料二見大以正 購 五餐色几及以 角爾面圖格敦原 建根圖廟瀬世 **至**

止輕身丹方甚九腫 職者運開發至外籍交

元昭泮 如信火 量如邪 舞無 然よ 雕復初試以凡包 者聽起驗致惠可 寄第服出耳二 根 **費一此而服症** 自**聖二問耳曾**

價 目 包金服 拾發五包 五 深。據。 武 深。整。 拾 鹽。七。 拾 鹽。三。 拾 甕。貼。 五 葉。貼。 錢 盒。登。 從 盒。量。 口溜鎖潮州 綠光 明埠 蚌州 固 日軍 神別通車)年日開 車孤車 通車四車 四通 四常浦四車 月 到 到 日通口日 車一日一 開口浦 州滄州德南濟安泰州兗城臨州徐集履鎭固埠蚌光明州滁鎮浦口浦 三十十十十十十十分分分分分分 六五分 常通道大 持行

總經理上海河南路老巡捕房北東亞公司 書樂局

小學仙家家庄

が開発子科

雁嶺

七 明 存 鎮 查 光

掉武 興趣 督當耐附近歸取爲荷外準各洋廣質號均有

孩童日

健胃之效甚大服用仁丹補脾

記性之效甚大服用仁丹增進

生日

班盒著五十巡包

10

女叔

大 十五十 (銀東)取東川 () 0

萬金

|如何允重逐騎元丹年日授嚴三次立龍上海峽重在地元體運輸不經檢測|| 建筑层省湾养加碳血淋漓管员数寸或资水浆血股肛疼难省湾瓣以上各一流之症曾由温钠下注除后熟甚集勞過度以致筋壓使解物氣股液者處壞

是 定成 十無境

學最或一羊人

船品三世熟因 〇毎盒非耳腎 海 立元血利症損 念每氣已本相路 胃六和善家上 念包剪车种肝門

Ξ

80006

曹維現狀一面候大總統備任賢能迅速來蘇辨理義後在後任未到以前一 後人心未定法據士民要求赴韓安養現因吳孫阻廢侯滬霄通車後即當前往 政機關本未十分紊亂收拾整建貿易規復奮戰億開勉膺重寄本逾分量此次 **神明 發責痛苦尤深現在亂首潛述 漚戰連提涨台將下大兵雲合全省指日底** 要密奪垣十五之優德國奉職無狀咎無可辭十七到返隨同都督密籌布置力 能自恕應請迅予配官加以明罰以為騰關溺職貼誤地方者戒南京當**變亂**之 **军軍肇豐戰守**所 國恢復實驗前您於萬 應省長第一次致大總統國務院電 人民亦已進率的命行縣約集地方著士籌款募捐安籌安擔各 院與程都督應省長往來要電 在同負責任經蒙大總統以先期在京曲加原有內返良知學 一因交通阻滯自十 **致局勢稍振維時凱事方急未遞請罪** 九日起始克先後密陳請示機宜開 北京大總統殿務院的 H .

國務院第

應省長·完一大致大總統約令恕其既往策其將來自顧曆頑陋忘感奮惟應省長·完一大致大總統國務院的 北京大總統國務院的 拒逆無術頭 愛無方輕豪官守不能殉職外慙清職內疚夏知今復寇退則反靦。••• **涉迄未補數萬一幸襲中央威德大兵雲集叛首潛透濱池之臟指顧可定復期** 循
此
臨
正
須
熟
手
移
得
接
即
等
因
特
達
國
移
院
角 政府命吏責任之重與夫妻 念奪軍事凱德関雖無治兵之費同為守土之官當日倉本變生勢成束手號念 應省長第二次致大總統國務院電 「省全局関係之争忍辱倫息勉闘自験徒以智力淺

羅爾未 5 **陸再自助味死待罪應億周**呈蒸印 國務院第二次復應省長電

云規復籍全之罪會不能稍減萬一應請大總統先賜罷職再予處分以為溺膨消德全失守省垣負罪已極既有負政府之委託復魄對江縣之人民今省垣雖 官長佈置進行原期收集舊部會合大軍進圖恢復藉以稍騰前德乃选嫌奪垣 漸敏底定中央續派到流軍隊均己間道登摩布置進攻涨台流南除輩指日肅 悔情願遵從命令大軍不日可到南京方面從前附軍軍隊但類分別懲盗即可 **慶宏德全治軍無術致有前月十五日奪垣之變酮越源上招集蘇屬水陸各軍** 程都督第一 次致大總統國務院電 北京大總統网務 院

狀可言務與始為其難會同獨張鄭各軍料理善後恢復舊觀將來遣散冗兵拊變生軍隊與文吏何于跋民政長因足疾留京月餘市圓上海驟閉奪耗更無罪國務院第一 大復應省長電 應民政長密率大總統令江電悉國務院第一 大復應省長電

顏尸位不特對人無信用對已無廉恥抑亦官更無法守闷家無紀綱醛硜之愚

見貽誤地方致念不足以對蘇人也昔管仲諸囚於党阜孟明失敗於者 風如殺火合為力以經費各嚴綱分不知其他幸勿顧惟浡言轍以高蹈潔身之 應民政長奉大總統分蒸電憑教 密功罪.

全冬印。本結束以前遇有應行確辦事件輸全仍當獨誠効力以關自職代維約慶母德本結束以前遇有應行確辦事件輸全仍當獨誠効力以關自職代維約慶母德者或常垣不可一日無主并請迅賜另簡賢能早赴奪垣用資氣疑懼蘇省軍事 **頤土朱兆莘對於反對列墨渚特加答** 的列墨以修正憲法的手續始能發更 **愿但得以法律愛更之縣鍾主張絕對** 决武以朱君之議勸告發言者務從單實世光陰可數也主席此次仍不付表 惟而已谷鍾秀汪彭年汪榮寶相職單 未付表决以致感言者後無限制虛擲 簡何言主張概括規定金兆校王張列

商務院歌印 雖 已 竄逃 地方未盛安 輯 廚望忍辱負重勉力 腎維 異枚桑撒之效等因合 電達 國務院第 _ 次 復程都督電程都督衛奉大總統令 冬電悉叛匪

であると、このでは、 このでは、 大学をなるとのできない。 できない こうしゅう

聖德歌電敬悉德全前電精准免官拜予處分原以中央對於負罪溺職之人不 使速往安排升先派員赴賓接沿熟器辦理無任感盼程德全魚印 心教多疑性人民復滋恐慌大軍運到一日地方多累一日應請電筋馮張兩軍 **所 敬畏皆有輕棄其職之處披瀝廣陳伏維慶尤再奪軍雖選齡取消獨立惟軍** 總統論勉力闘維以謀桑豫之效惟此時若再聞任不特無以自解且各所校無 可稍有姑經耳且德全病狀確係增劇若再勉競支持歐恋更多貽誤仍懸俯准 程都督第二次致大糖統國務院 能免并迅簡負接任實於大局有益傷全難能驗如遇有商辦之庫 北京· 入總統國務 仍常護道大

川處已飭合分投接為矣大總統燕之惡仍望力疾維持舜以推諉而誤大局現張軍已抵高資馮軍將至江之惡仍望力疾維持舜以推諉而誤大局現張軍已抵高資馮軍將至江 之福仍望力疾維持好以推諉而誤大局現張軍已抵高資馮軍將至江浦杜淮多岩都督一旦解任則甫定之人心义將惶惑被脅之軍隊或更遊移恐非地方挾都督名義以號召自該督出險通電聲明向之被煽者從面撥亂反正保全夏國的 一大復程 在 一種 一程都督密魚電器黃興倡亂之初國的

憲法起草 决兩大問題 會 表

有權制止之朱君兆率前經提出動議 具一種規則**發言者每次不得逾二十 向多未盡之義為他人所欲聞者不能** 鍾秀反對爾報名符言者寓有多人或 作為討論終局朱兆華謂限制從言應 起草委員在天理開會接續討論 者頗嫌其重複某君提起討論終局谷 王敬芳王用賓均主張概括的規定引 八月六日上午九時至下午三時憲法 証極許惜所言多為他人 所已言者聽 **定兩說付表** 括的規定及 起草員於條文內酌量加入然後討論・ 是日所定議題均已通過 是否附於信數自由條充 兆幸提議國教應**在憲**法 付表次實成列舉 **余兆辛均主張仿約法** 或割據遊弊班多云云主席 以 概之中國國情事列暴規定恐領土喪失 一條屬於總綱請付討 說者多數於計論人民權利 易宗泰主張列泰規定和 概括規定孫鍾反對之汪榮實孫獨字 義務應否規定問題實 列學 文之後排另為 者多數未 地球散會 主席開當由 資成前 以規定其規定 暴規定主席 君柴佑主張 的規

留日學件 之歸

二十四姓胡名磊車 籍內有一女子 者居十七人餘為河南 乘山城丸回國共中籍隸江西 有留學生三十 **國國學生聞風陸續歸國者甚多茲又東京函自南北發生戰事在日本之中** 女學生生乳胞弟 極 **安徽四川諸省** 元軸線素 美麗年可 宗神田高等 人於日前

之區劃改置留

高等師範二人本同居於

小石川地方

在後曜尾機則福泰青泰致祥亦經路 (十二號)裴鳳坊巷賽亭當先有談兵 **舊被稱**衣服入內 硬 當銀洋情事今日

加站雙崗惟人數旣多所有舊額巡 添招巡邏之警備

張司合以現在崔蒲不靖盜案迭出蘇 司虚司長日昨會商警察石廳長憲兵 不足茲聞各響區已將此項巡士招足後命令添設巡邏隊以補崗位巡士之 ▲嚴密防匪之計費 即日預備申送云 軍•

城內外難保無外來匪黨酒跡其間而 客栈旅館 尤為匪人容匿所在關後如

其何在該巡士直言不諱相告墜落河巡長查過瞥見軍帽槍械均不在身胸 店夥聞信竭力救起未致獲命旋由管 **幽**乘凉熟睡慢墜河中幸經鄰右豈腐

地方新聞。

▲取締兵士之强當 近日 開典業公所因此特開臨時會議籌商間書為憲兵隊當場彈壓故未肇事刻

警察各區近因軍事時代警備嚴密一 止之法未識能收效果否也

等事行至驻防之吳江屬橫屬地方為君之委任順道關查太湖第四營師船 等整行封去一空該統領祇得回報軍太湖県匪偵悉將艦中所有軍械輸銀 直世後水上看察第二處長李英石南 **馳赴青浦等處巡閱師船並率軍政司 唇水師統領鍾堯階日前特乘淺水艦**

内小柳貞巷模範監獄華犯供閥希望・ 越獄一事已登不報嗣經軍政司電呈 政司派兵嚴行緝捕矣 ▲提訊鬧監之餘聞

給發委狀其內容組織法暨各庭辦事

▲ 孫招新兵之防守 軍政 商處洛莽因蘇城軍隊不足特委總務 科長楊星笙往各處添那新兵令已陸 科長楊星笙往各處添那新兵令已陸 六番南犯派員到歐提出殿飢未識另

传今有同志百餘人已在上海組織中 物理學校學業會操品語向日人日子 **今見 南方不靖** 華敦國團本部故有此行後日自橫濱 焼之近江丸亦有三十餘人回國到. 皖等省徐圖書後之策亦擬於神 命後當竭力活動將諸同志遺往 支部云云 故亦回齒同行中

一時無額駐蘇僑居滬上型致該園一時無額駐蘇僑居滬上型致該園一覧工之別墅亭台花木頗得幽趣藉此 関報社並挽囑桂芳閣主銭墨帰出面・於前月會同書界中人租賃開放添設・ 混雜其間致生事婦問日前函致香票 蘇城有此名國日久荒蕪殊爲可惜故 空虚關閉警察廳衛生科長王季綸以 重番岩梁因除此戒嚴即內賊恐軍隊 具呈**李**題出示保護在案刻市公所總

鹿長石人俊識飭錢墨卿等暫行停放 ▲統領之被却餉械 職玉之說 聞公司理事會

安地方秩序

一角執法處報告成

督分任司合官頒發或嚴條例改組軍.

中管巡長即筋附近之捕魚船代為響 出帝回所中東告署員混隆影辨巡士 再三良求經陸署員念其初次選犯權 雕中某科員出為排解云

▲鶴 国保前清督練公所參謀道員洪 陸署員與署長燕興權大起衝突旋由 三等所悉東報署長務與權飭革一 記大遇一次後為附屬好事之徒胡老 時。

盗王阿金 長沈子莊(即鹽浦雪統領)溫緝至 奥報通緝在案茲悉蘇省水師第二雲響 在午夜突被梟匪擱微被刧去現洋二月之五號戴生昌輪船路過珠家閣已 初三帮合做并于阿金身畔復出莊洋 疑上前盤詰遲即解覆飛逃僅追獲夥 江夾港嘴地方見有匪船多艘形跡可 萬四千元之鉅署物不計其數常經呈

廣營業起見擬在該處開通鐵道已派蘭溪勢據上游商賈繁盛今浙路為推 州奥常玉経接軌極得地利必可建築 工程師測勘數次據云此路由金華循 **本朱都督批迴解**杭核辦云

杭嘉湖海紹劃為軍事戒嚴區案經都



豊。城。精。 易。之。餉。 足。借。足。 · 1-1月事解除而謀反對者又或復圖收合餘燼爲背其積憤既深事機發露無可挽回克敵之師既得這二人國家危凱之非四之, 家危亂之將至遠應者當潛移默化思弭瀾於 一。 若 今• 可輕爲解釋耶宜乎伍秩庸諸君之說不何海鳴柏烈武等之據皖實勢猶未已是 沈回克敵之師既得逞其械 一移默化思珥瀾於未萌及 。。。。。。。。。 修舊軍云 居其多數聞即係前光復後遺散

之。選•

負另行

開摺呈候核轉並於

本月

號同時成立合先星報云云

▲鹽捕營破 獲刦輪案

一名提訊供出湖南東湖太 佔據 瓦密及城家千子等處肆行奸淫斥責欲行捉拿若輩狼狽逃歸遂分頭 終日不絕該知事業已聚惡上 **路伊華領**國謀不勒縣知事大怒稱: 有土匪多人晋内威**逼知事**欲將縣 分別婚配各匪等即日成**親鞭砲之** 派兵劉辯不知將來如何結果也 土匪之猖獗 郯城縣 署。 灰.

百另二元業由該統領軍呈到浙已

(松)

本	本	大文和 の	發 錢十五 五百分分 國 個分 分 分 分 九 九 九 九 九 九 九 九 九 九 九 歲 年 柳 柳 士 士 士 士 士 士 士 士 士 士	帝根六個月定貨 二元金 一個	一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。血。 一人。 一人。血。 一人。 一人。 一人。 一人。 一人。 一人。 一人。 一人	図。非。起。認 成 之。與。 成	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	能最多 を の の の の の の の の の の の の の	(6) (五) (六期星
一	野野花花 下降 整 強 強 強 強 強 強 強 強 強 強 強 強 強 強 強 重 更 更 元 更 元 五 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	日 紅泽 什金五 送 原 月 史 水 日 稲 雲三 政 天 叟 雲 製 紅 紅 〇 版 八 京	東 又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又	東洋 麗 麗 麗 國 國 月 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	傷心慘目生靈塗炭村落邱雄門後	た。 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定	一般 E と B と B と B と B と B と B と B と B と B と	格 施行 感 表 此言 良久 立 却 坐 神 急 凄 凄 不似向前 整 滿 座 重	(8)(五) (六期星
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五	野 花花 花 木 木 木 木 木 木 木 木 木 木 木 木 木 木 木 木 木	和 注 什金 五 送 關	帝東 又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又	平	傷心慘目生靈塗炭村落邱雄門後	は、	一根 田 智 本	格 他 行 感 我 此 言 良 久 立 却 坐 神 急 凄 凄 不 似 向 前 整 滿 座 重	(6) (五) (六期星
本五 次	野花花 下	注 什金五送國牙曼月火水日稱獎三收天曼愛愛紅紅 版	東 又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又	平 東 洋 國 職 職 國 因 因 月 度 要 要 更 更 更 更 更 更 更 更 更 更 更 更 更 更 更 更 更	傷心慘目生靈塗炭村落邱雄眄後 揚微揮無淚裝予赤子今竟何奉敵	原本のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个 一个	槍砲行感変此言良久立却坐 轉急凄凄不似向前整確座重 一種の行感変此言良久立却坐)(五) (六期星
五五 七五 海口 中面 一	花衣 产	什金五送課月雙月火水日稱雲三数天雙雲雙紅紅 被 牌象碼子笔風虎帶車月光時鶴星羊官象龍龍龍 抄 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又	中 票 洋 區 鹽 鹽 區 區 區 區 园 园 园 月 度 東 東	傷心慘目生靈塗炭村落邱雄門後	度。 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定	一般 田 智 本	轉急要要不似向前聲稱座重。	五) (六期星
五五 七五 海口 地	花衣 解	什金五 送職 分更 月 火水 日 稲 婁三 牧 天 雙 雲 雯 紅 紅 殿	双又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又	月 十 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四 四	傷心慘目生靈塗炭村落邱雄眄後來者為理好性是心股力薄費無數所與海人教養與其一人與一個人物學的學學與一個人與一個人與一個人與一個人與一個人與一個人與一個人與一個人與一個人與一個人	信至晚婦怨恨自縊兄乃偽 (信至晚婦怨恨自縊兄乃偽 (記書) 以故日此必我如婦所為 (記書) (記書) (記書) (記書) (記書) (記書) (記書) (記書)	一个 电	检 砲行感 我 此言良久立却坐	(六類星
大五 全	一种	全五 送 服	又又又又又又又又又又又又又又又又又又		傷心慘目生靈塗炭村落邱雄眄後流離擊突然有寒風光光氣,其欲揮無淚髮予赤子今竟何奉敵遊是奪將對於大大區之為,其後不為其學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學	東執之爾出迎則雙耳宛然而衣有室登場。 與遺傷新學不足與語經濟之。 與遺傷新學不足與語經濟之。 與遺傷, 與遺傷, 與遺傷, 與遺傷, 與遺傷, 與遺傷, 與遺傷, 與國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國國	在美大有超然选然之致忽隔。		六期星
本五 七五 本五 七五 本五	字 牌 牌 牌 牌 小 高 尺 風 機 胚 江 医 岡 南 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高	送限	又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又又	医	傷心慘目生靈塗炭村落邱雄門後端、衛門學科學與大學與大學與大學與一個人學的學術學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學	度無動之行不養疑婦之姿不慈致信室晚婦之行不養疑婦之行不養疑婦之為不為所為致情。 一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個	使月雲柱鳳香某書生靜坐花。●鬼出對	鼓耳暫阴莫辭更坐談裏曲為	期星
本五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五	字 脾 脾 脾 脾 脾 脾 脾 脾 脾 脾 脾 脾 脾 脾 脾 脾 脾 脾 脾	個	又又又又又又又又又又又又又又又又又又又	國 月 電 月 電 月 電 月 電 月 電 月 電 月 電 月 電 月 電 月	傷心慘目生靈塗炭村落邱爐肟後獨不者為理好便與流光發展,其一個人學的學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學學	信至晚婦怨恨自縊兄乃偽訪劉欲 應動之行不義疑婦之為不為 聽動之行不義疑婦之為不為 是是人 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	●鬼出對・破睡貿	修 悽不能聽今夜間君戰事語	星
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五	原 解 解 解 所 所 所 解 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所 所	サ 要 月 火 水 日 稱 雲 三 牧 天 雙 雲 製 紅 紅 麻	又又又又又又又又又又又又又又	全洋 医	傷心慘目生靈塗炭村落邱雄門後獨不者為理無限變予赤子全意何奉敵流離擊我難民毋便顯沛天職是整東南大局贴危殺平何日前途遙望東南大局贴危殺平何日前途遙望東南大局贴危殺平何日前途遙望東南大局贴危殺平何日前途遙望東南大局贴危殺平何日前途遙望	信至晚婦怨恨自縊兄乃偽訪強欲 (信至晚婦怨恨自縊兄乃偽訪強欲 建獨之行不義疑好正其一矣開於官官 室登楊去被耳亡其一矣開於官官 室份。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	●破睡貿	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五	群	日 火水 日 和 雲三 吹 天 雙 雲 髪 紅 紅 殿 C 平 車 月 光 神 鶴 星 羊 宮 象 龍 龍 龍 記 一 六 後 元 一 後 元 二 元 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	又又又又又又又又又又又又又又	■ ■ ■ 個 月 個 月 定費 ■ ■ 日 日 日 月 定費 ■ ▼ ■ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	傷心慘目生靈塗炭村落邱雄眄後獨不者為理好使暴露無我婦孺與一人, 與多塞黑音點聞西北江淮伏莽竊 發百寒屍無算際此戰為者為治好使 發百寒屍無算際此戰為者為治好使 發百寒屍無算際此戰為者為治好使 發音寒黑音點聞西北江淮伏莽竊 般邊塞黑音點聞西北江淮伏莽竊 般邊塞黑音點聞西北江淮伏莽竊 般邊塞黑音點聞西北江淮伏莽竊 般邊塞黑音點聞西北江淮伏莽竊 般邊塞黑音點聞西北江淮伏莽竊 般邊塞黑音點聞西北江淮伏莽竊	●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●		とこののののである。 とこのののののののののののののののののののののののののののののののののののの)
工工	所	火水日和零三收天便零更紅紅 版 車月光時制显羊官象雜雜雜雜 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	又又又又又又又又又又又又又	職業 基	傷心慘目生靈塗炭村落邱爐肟後獨不者為理好使暴露無我婦諸為治好應及死者為理好使暴露無我婦諸為治好使發死者為理好使暴露無我婦孺與養死者為理好使暴露無我婦孺母使發死者為理好使暴露無我婦孺母使發達之事,所以此時後	學術之間 學教之行不養疑婦之為不慈致 學教之行不養疑婦之為不慈致 學教之行不養疑婦之為不慈致 學教之行不養疑婦之為不慈致 學不仁意經牌鄉人聞之莫不慈致 學不在意經牌鄉人聞之莫不慈致 學不不仁意經牌鄉人聞之莫不慈致 學不不仁意經牌鄉人聞之莫不慈致 學不不仁意經牌鄉人聞之莫不慈致 學不然 學。	男表京	上の寄口袋を与むてところ	19 = = 30 Tr
五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五	所	水 日 稱 婁 三 教 天 愛 愛 紅 紅 廠 月 光 解 稿 显 羊 写 魚 雜 雜 雜 雜 二 一 後 九 二 一 後 九 二 一 後 九 二 一 後 九 二 一 後 九 二 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	又又又又又又又又又又又又又	■ ■ 個月定費 日本	傷心慘目生靈塗炭村落邱爐肟後獨不者為理好使暴露無我婦者為治好便好使暴露無我婦遇所養死者為理好使暴露無我婦遇好養死者為理好使暴露無我婦遇好養死者為理好使暴露無我婦遇好養死者為理好使暴露無我婦遇好	原執之間。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	大学 は 一番	動の	:
大五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五	小 過 八 画 商 商 商 商 商 商 商 商 商 商 商 商 商 商 商 商 商 商	日 神 雲 三 牧 天 愛 愛 起 紅 紅 心 放 一 一 後 地 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅 雅	又又又又又又又又又又又	■ 図 図 月 図 月 定費	傷心慘目生靈塗炭村落邱雄眄後獨死者為埋無淚嗟予赤子今竟何奉敵強是奪除計奔走狹傷者為治姆便養、養養、養養、養養、養養、養養、養養、養養、養養、養養、養養、養養、養養、養	(第一年) 《 《 》 《 》 《 》 《 》 《 》 《 》 《 》 《 》 《 》	前外では別のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	I.o	日
下 下 下 下 下 下 下 下 下 下	小高高白	開	又又又又又又又又又,本一龍	■ 図 図 月定費 図月定費 二二十二二十二二十二二十二二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	傷心慘目生靈塗炭村落邱雄眄後獨死者為埋無淚嗟予赤子令竟何奉敵場欲揮無淚嗟予赤子令竟何奉敵婦死者為治姆使	(言主・) () () () () () () () () ()	悟此等人原係騾崎轉世以供驅。	易。	Ŧ
新	小麥、一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次一次	三 代 天 受 愛 愛 紅 紅 紅 (A)	女女女女女女女 本 龍	國月定貨 二角	優心慘目生靈塗炭村落邱雄眄後場欲揮無淚嗟予赤子令竟何奉敵場為揮無淚	度 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	使嗅 醛 助义皆人也並無一騾馬。。。	我	
所之五 海口 市	高	代 天 奨 愛 製 紅 紅 和 の	又又又又又又又 大 本 離	個月定貨 二先 四十年 五十七年	情が見ちょう 傷心修目生 監塗炭村落邱雄門後 場欲揮無涙嗟予赤子今竟何奉敵	唐教之爾出迎則雙耳宛然而衣 有信至晚婦怨恨自縊兄乃僞訪敎欲	周冕數百形中無復人形公	開槍砲已聚為又開此語重唧唧同是	ŀ
附二五 常	及	天 安 雅 和 一百零 一百零 一百零	又又又又又 二 本 雅	個月定貨 二先 個月定貨 二先 三十九 三十九	傷心慘目生靈塗炭村落邱雄眄後	「「「「「「「」」」のでは、「「」」のでは、「「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、「」のでは、」のでは、」のでは、「」のでは、」のでは、「」のでは、」のでは、」のでは、「」のでは、」のでは、「」のでは、「」のでは、」のでは、「」のでは、」のでは、「」のでは、」のでは、「」のでは、」のでは	就近偏觀則臥者非人也概愿也。	严。	月
附二五 海	及 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八 八	受 報 和 一百零 か 一百零	双叉叉 之 本 雅	個月定貨 二先 個月定貨 二先五 三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	生體資軍雲級級强兩權系流面	信主晚媂怨恨自縊兄乃僞訪翁欲	又念眠聲如此眠形又不知	iL	
附上五 海口 市	縣 凝 至 江 医 网 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 高 自 元 高 自 更 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元 元	世紀 和 和 和 一 会 か 一 一 会 か 一 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二 二	双叉 土 本 雅		台號比獎區分及單種發吃		外庭間滿院齁鼾如電以爲梁	。陽。潛	t
附上五 常	機一班、江西、西、西、西、西、西、西、西、西、西、西、西、西、西、西、西、西、西、西	和和 M	明 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		九江紅十字公會來函 天鍋	也持耳奔訴兄兄以爾為人素婦護	90000000000000000000000000000000000000	0	丑
附二五 海口 由测面 市 全	班 高白更 四高白更 四高白更 四高白更 三元 高白更 三元 一元 三元 三元 一元 三元	紅の雅力に一般力	辦士本	ここの	99999999999999	掩面走佯釋灰置床間其婚信以為	おからからののからの	o]	Š
南七五 海口 由 加 南 市 五 海口 由 加 南 市 五 海口 由 加 南 市 五 海口 由 加 面 市 五 海口 由 加 面 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五	江 高 高 横 白 更 南 高 横 白 更 西 高 横 白 更 一 元 高 台 更 元 一 元 一 元 一 元 一 元 一 元 一 元 一 元 一 元 一 元	版	佛士 一本		◎ 來鴻去雁	婚後優婚而婦大怒魔落一耳姑負	早年三十二名では、1000000000000000000000000000000000000	がの	₹
所之五 海口 由汕頭 南七五 海口 由汕頭 南七五 海口 由汕頭 南七五 海口 由汕頭 東	四高機 白更 高機 白更 一面高機 白更	i	一雅	集行及六個 二元合九	000000000000000000000000000000000000000	窗下站竊霸衣巾服之嚴然獨矣 突	から一张に野生鬼夢定曜時日からのようののののののののののののののののののののののののののののののののののの	可山朝血污今年就晚夏明年令月妻	歴
所之五 海口 由测照 市五 海口 由测照 市五 海口 由测照 市五 海口 由测照 市五 赛路九 往長江 为 在	阿高樓 高樓 自更 一百樓 百里	a_	ル押上	10月10月10日東 :	感慨存為噫(南国)	新選疑翁思有以試之一日落事故	世可因 免而死 明知其必死	淬,	隐
附上五 海口 由测明 不	南高橋白更 高橋白更		, s	二、一、二、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	此也不然則返矣區區玩世語有 無點報前 200 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年	某村有少姓奥爱姓居 原如射谱图	思釋夫冒署奔走勞瘁分應然	順。	
所之五 海口 由汕頭所之五 海口 由汕頭所之五 海口 由汕頭所之五 穿陸 由長江 海	南高機白更 高機白更		八ヶ井	電面四個月面製 二先令八	車馬衣服器用以防死而及其死	●奴婦	馬之死亡無日無之公閒然	林。	3
所之五 海口 由汕頭所之五 海口 由汕頭所之五 海口 由汕頭所之五 海口 由汕頭所之五 海	雷高機白更		力勝士	現底二先合八	無不憶父母戀妻子聚美財營	i i	汗爾交注公在興中亦覺署不	得。	形
所之五 海口 由温前所之五 海口 由温前所之五 海口 由温前所之五 海口 由温前 自然 由最近 在最级 计 在最近 的 一次日出口 整本 在 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		j		英倫電區	死子何以不死予笑而答之日人	■ 、 は に に に に に に に に に に に に に	値大旱沿途苗橋酷熱異常殿	爱。	E
所之五 海口 由祖前所名		州羊市	· 		まらの きゅう できる できる はい できる できる できる できる できる できる できる できる はい	そとの いっこの ののののののののののののののののののののののののののののののののの	前清裘文達公出使浙江道過	軍。	
10 10 10 10 10 10 10 10	北鴨高橋白夏 八元	升 七元	48 i		於忘心忘心則自有其身忘身即	年世界古禮殆不可復行於今矣按	風旋息亦奇事也	東	H
南七五 金陵 由長江 市 金陵 由長江 市 金陵 由長江 東陽九 往長江 東陽九 往長江 東陽九 往長江 東陽九 往長江 東岡一 在慶門 1 1 1 1 1 1 1 1 1	米市	第一 ・ 九元	古英 洋 電	發 班 第五百三十	心死故不死生莫悲於機身而死	以日區區童子作此奇 茨無怪當今	舟順風大作行未半日	鳥。	P
南七五 金陵 由長江南七五 宮陸 由長江南七五 宮陸 由長江南上五 宮陸 由屋台 田五 田五 田五 田五 田五 田五 田五 田		方の五角		半	不能過此可知死心死也心不死心之事很然とヲ対な諸を見る。	生武王孔子二十一生鯉翁無以答	浪椒風平陳遣人携香詣廟	軍。) /*. //.
南七五 海口 由 南七五 海口 由 海口 由 東路九 往長江 東路九 往長江 全陵 住長江 全陵 往長江	又 什牌 一百			+ +	面 子曰死無君於上無臣於下亦無四時	想孟日必三十而婚何以女王十五	見除伍廻頭角傍之謎塞啄	到 60	
南七五 金陵 由長江 市七五 海口 由汕頭 市七五 宮陞 由最 日 日 日 日 日 日 日 日 日	又 五 飆 一百	7	抗	中國銀行	而人人不知其死嗚呼死已而豫	翁日古禮三十而婚爾非其年何得	拜即使僕站船頭呼曰不敢擂		à .
七五 年	交 蛛 瞬 二百	0	18 2	和當銀行 集念二萬	無怪乎其不知死夫以人人共有	見人娶妻爾翁日何不為我亦娶一	風象烈力搖如皺波浪掀天陣	不聞語呼呼轟為錯聲彈大珠小珠落	六
五 安	又 曼 事 一百	が 五分 一百三十四ラフィー	并提	華比鄉行第二十七萬	無色子其不知死日與信死之人	佐封植禹十二面為司交發無以答	縣 年 里 悉 是 通 伍 徑 傍 陳 舟	後魔么小砲砰砰如急爾大	1
七五 海口 由测页 七五 官陸 由复江 山地頭 化五 官陸 由复石	又 立馬 一百	St.	1	#二十二	再死也今有人爲日與忘死之人	思童日必四十而强仕何以堯十三	継以大益の随	無限事東繼西松抹復禄	ز
七五 海口 由過五 由 超台 中	又 金 象 一百	- 4		· 这类是行 聚七十四萬	人各與以一死而惟乎其一死不	翁曰古禮四十强仕爾非其年何為	將軍出遊旋見上流有數百小	偉人大得志揚眉信手續	1
七五 客屋 由長江 金陵 由長江	文 三 圖 一百	技 七十二百文	一萬	東方銀行銀二百三十	人真苦於生面真樂於死天道至	近見人捐官忽謂獨日何不為我捐	府傾覆 聞 升	製 同胞不留情彈彈烈烈聲	八
官陸 由極台	又 花 螺 一百	第 一千三百十	衣	通商銀行 第二十萬	世吾願敗者之勿敗家世也(抱	調強記多聞賓戲客嘲幾者無以語	來明日富往予舟答拜次日甫	養失 6 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	牟
五階七五 海口 由 和 最 東 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	又 曼 鹿 一百	1	西	建服务 术 斧五十四章	喪風資產敗其家門強飆名節的	有餘聰熟過人早看神童之唇復承	日展阻客舟搖非地主之論且	督偉人大開宴千狼	# *
一角 金陵 由長江	文 編 島 一百	元 一百七十七千三百	十六 高 小	第七十四	奴吾愿富者之勿為財奴也	某獨素以博學名家有一樣在幾十	我是人中相人物雖然不位	和不停欲語選兵船及尺	
The state of the s	又 扇面 一百	-	A	正金銀行祭四百十萬	能聚能散是名財主日 陛 日 客是个	▲奇董	便恐懼陳升章環視對神日汝	學主人舞廳	
一百零八階五 一安平 由烟台 招离總局	又二 裔 一百	洋 七號三分	十七萬	维華銀行 第四百八十	以養廉	不解耳白樂天云人以非宅以信	氣森凝凡禮拜者無不屏氣	成數修將別別時在在江浸月忽開水	民
一百〇四第 新康 由煙台 招商總局	又 送子 一百	五分	一萬十萬	■■ 銀行 第一千一百五:	名由於騙汽生乎逃故君 一	亦日隆世言大作人言多不前亦人	軍廟敬神陳隨往入廟英	育主客在輪船墨酒欲飲無管拉醉不	
由烟台	又 三 馬 一百	Ħ			獨坐防心	玉歌頭次日榜放中式惠由此顯達	(丹粉粉持香烟 脊 岸間何之	海陽江頭有屬客建設郡江景蕭悉前	-
一百十四兩五 致遠 由奪波 招商總局	十六支管 魚 一百	Ħ	经		。。。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	一聯賀云朝廷未放龍虎榜居上先	昌田風彩		中
一百〇九階 新北京 由鄉波 太古公司	叉 什牌 二百	銀 二百七十一兩八	大铁		格之人天下無難處之事矣	悬家大敲時友人趙丙友館其家即	其一事難員	一种企品了 从版至音符	
由業故	又 五子屬 一百	+ -	足 (● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	登前一日家畜白犬綠梯升屋作人	人正直從政事籍	交苑	
一百十五兩五名		金金 三百七十四十二年五十二年五十二年五十二年五十二年五十二年五十二年五十二年五十二年五十二年五	200		人用剛吾以柔鵬之人用	姑藤事英名下士也未築時鄉試榜	府稗零拾		¥.

云



吳淞要聞

宜守望相助莫使小宵酒殿云 轉徙四方今有大軍保護境內安奪如常務各早歸處市毋使生計拋荒更 府念民疾苦出師授教申江吳雅之險已下凱匪喪胆遠殿前者良民被授老少 台駐業其餘三輪開赴派江並由海軍陸戰派出六百安民一不 而公平輪 之兵於今歲九時消臭糖糧米馬頭 起岸赴四石塘風 局公平安平新濟家順四輪由第二批裝運北洋步隊二千名 桅旗相望·陸軍連日移驻獅子林南石塘等處計一千五百名今由招商 於口自官軍攻取砲台五十三日如海軍大小各兵輪 三灰水口至滬江 一道錄下政

商船學校亦被刧失校員及學生物件值更鉅今各該校員至彼調查以便修復及學生行李主人有主義學學堂所設施業陳列所並什物等皆爲亂軍刦失及 又有津浦工程 虎塊機器及張華浜之鐵路機器各版均 照常開工 駅至今日 抵為暫駐財神廟常育巡邏矣並經江灣吳松寶山郵政公支局因火車停駛收 ₩銀等河員到以原局巡士皆走散及號衣警械等已為**佩軍**攫去放 ₩6十三日 **凯車选散**後時有遊勇搶劫及竊案等數十起居民頗為其撥昨有 避難選徒鄉民即行回里故火車將客擁擠異常且中國公學損失校舍 時不及站員情惠警長穆杼齊派開北警衛隊三十名於十四晚九時乘火車 **被蛛路**已通行 各該 郵局於今晨照常開班

守使因此項風軍不可納入着將該軍 軍裝交出允許給前三個 奉劉都長派委前務帶于 官軍克復砲台時間兩石塘獅子林等砲台皆為舊時升兵現海陸軍鄭李司台 軍逃逝外的有 學軍一連 即前本四林之衛隊現駐南石塘砲台經鄉鎮 月散隊云云 伯鄉為該三砲台統帶並除亂

二號於屋令民船改由水道 歐王嘉定城內 登岸該叛兵等即分驻前 號强盗牌)各事 受損且餉項不職獅子林砲台林台官又議破機關行將反正兩次江灣陸戰均 吳松叛軍首領居正 鈕永建 愛因南石塘歌台軍火不足选由兵艦彈擊 清游擊衙門城隍廟學宮等此業已開掘城濠並於各城門安設面 為官眾擊敗自知大勢已去 萬難再守乃於十二號下午五時属得 **一月。** 現地九時 半開抵 川浦鎮 暫歇 副恋官軍追襲旋即連夜赶 主羅 店鎮於十 六十輛裝載輜重約同 希圖 貧隅固守 跋扈居民深恐官軍大隊國攻已紛紛逃避一空間 残兵共 計二千餘名至楊行鎮取 實山叛軍首領羅某

海流鎮守使鄭汝成上將以**浴(實)**一帶雖已**所清**和台之官亦已率然反正 製造局防兵調往吳源各砲台以發空衛云

惟偽司令居鈕等帶領敗獲出亡餘為一行勢有死灰復燃之事故除派兵 追剿外因砲台為海道之間疾防範尤宜嚴密擬將投願各軍調赴各要監駐守

灣吳豫等處

佩事雖不秩序尚未恢復

令夏知事 **四暑謝事並**出示適告居民 毋相

館客棧 捕房捕頭 幇筋 空西包探分往 且叛軍四散紛竄難免無亂黨中

剛北駐兵之問題

向租界工部局請扱而來順一已之私遺大局之害已為該處公正紳民所反對 今因戰事將平復有自稱公民具惠工部局請求迅即遣派崗巡以 不知是何心肝者矣

)法界水軍撤防

造局停戰日人吳淞砲台亦已克復界內安靜並無匪類潛匿情度



恤之道故杏照統帶某君將駐守岸上之各水軍於昨日闕回兵艦以資休息捕足敷巡邏各水軍冒暑出防勤勞已久現在防務已鬆若再拖長防期殊非體

請鈕到霉族属中人答稱鈕數星期未歸不知現在究在何處刻來人搭車與公司船一艘並職員數人來申至卡德路属中訪問鈕鐵生遊當牽司合鈕永建自交代吳涨砲台後即匿跡嘉定再定行止距十四日南京方面開 日暮途窮之鈕鐵生

定往尋問鈕自開戰以來所有軍餉被累八萬餘元初時由黃興陳其美担任鉅請鈕到霧該厲中人答稱鈕數星期才真刁多思ィット 本昨該部人員來申云及鈕近日亦滿黃黃與不學無術太為狡猾云 向事

上海軍政近聞

6各軍統歸鄭式調遣昨派李厚基旅長移駐吳淞原驻江灣真遊各軍隊仍照因部事繁多由總統軍催返京擬即日北上鄭君仍照常統兵於滬所有淞滬新鄭汝成司令前經袁總統任命為淞滬接戰地域司令官刻海軍總長劉冠雄君 常駐防鈕永建在嘉定所設之司令部不日即當派軍前 解散 由程都

一體嚴查 如有形跡可疑之人許即拘究 華洋交界之處以及界內 逃匿**租**界設立機關擾害治安 大小旅

防閘北洋兵調回仍交華官管理等因領事團因滬地亂事尚未不 遠行關回應俟大局敉平再行連辦聞已據情電復再此項洋兵原係開北居民防開北洋兵調回仍交華官管理等因領事團因源地亂事尚未平定未便將長開北借洋兵保護居民財產一事茲悉本準領事團近率駐京公使來電飯將駐 永遠保護

電關釋茄爾號

巨物體可號台西台號三兵艦並巨班維爾號魚雷艇一艘共計之法總領事甘世東君於製造局兩軍開戰後保衛租界治安起見事 造局停戰日人吳松砲台亦已克復界內安靜並無匪類潛匿情事所有中西探五十名來申先派四份之一登岸防堵餘者陸續更替駐紮巡防現今某君以製巨物體司號台西台號三兵艦並巨班維爾號魚雷艇一艘共計水軍一千五百巨物體司號台西台號三兵艦並巨班維爾號魚雷艇一艘共計水軍一千五百

法廳卷牘 難收拾

善後事宜之辦法呈報到處無人批答是以彼此觀望也於高等審長無任司法籍備處事因經費無着尚未任事以於高等審長無任司法籍備處事因經費無着尚未任事以

勿聽謠言

之•一•

以杜奸匪氾迹一面合知各區警察署長示諭商民人等晚間進時早歸不得逗傳輸各區警備隊每夜在地方巡察時務於十時以後須盤諸行人併阻止交通時語謠圖攻製造局等談語是以防務格外嚴重轉筋猴怎警察廳長穆杼實君前晚為始復有謠言頗駭聽聞事為鄭鎮守使訪悉以其外間素多敗兵匪健隨

官

製造局戰 之

修理工料估計若干需時若干日 修理俟工竣後即行宣示開工日期云

和界嚴

●寶山境之招撫與肅清

三天後即十八號由各署長等來屬承領發給云節間發莊未通現洋少有且省中未奉務發是以知照各番區傳輸長署等路於際溫醫察廳長穆杼齋君以昨日為應發給陽歷八月份上半月前銀之期邁信

所適從之軍

日陸桂馥張嘉寶等訂於今日

軍火情事並由卜總巡隨時派探密為查訪如敢故建即行拘究云已由總領事咨照各捕房通告住居租界內之華洋居民不准招留匪類及廢匿已由總領事咨照各捕房通告住居租界內之華洋居民不准招留匪類及廢匿已由總領事咨照各捕房通告住居租界內之華洋居民不准招留匪類及廢匿已由總領事咨照各捕房通行稽查以防不執云云刻駐巡外交團接北京公使圖定合以准外交部照會此次南方擾亂所有匪徒難

上海地方審檢廳前日秩序亂時各法官均避在租界以致泥地方廳將所有 医高等審長無任司法籌備處事因經費無着商未任事以致泥地方廳將所有 医面中所有卷腋蠹薬於地農至無從收拾刻商未理楚現張廳長定於十六日 电有四十四人之多叉閱審檢廳對於恢復法律之手續過過進行者其原因由 已有四十四人之多叉閱審檢廳對於恢復法律之手續過過進行者其原因由 於高等審長無任司法籌備處事因經費無着商未任事以致泥地方廳將所有 於高等審長無任司法籌備處事因經費無着商未任事以致泥地方廳將所有 法

復一面招推流民一面肅清伏莽以期恢復秩序昨時會令謀縣録知事**連祕鴻**稍亂茲程都督應省長因吳融砲台收復實境業已平定應將地方治安亟行回實山縣境前因亂軍佔據吳凇砲台逃在縣城設立司令都以致居民遷遷秩序

適在外以免口令不符易致誤會以杜奸匪混迹一面令知各區警 暫緩三日

無減警察廳總務科長張炳甫岩昨

日•

分函各署

各分署各

除司法巡官

等云敬

京獨立即獲取消着即分別傳輸各兵切勿受愚云云昨夜各軍官暫暫在滬產餘人均至程都督處報告一切率程君諭仍各回本營辦事現滌濕旣已產濟南等垣自前日又宣布獨立後自營帶以上之各軍官均不變成昨來滬約有五十 仝返寧也

唐志喜闻房委員汪道慧往龍華分局會同分局長陳獨胤君派匠目斯驅鷗匠實佈置除通令各廠委員到局分別關查損失報告外昨又派無爐火藥廠委員製造局督理陳洛書君以刻下涨渝軍事業已解决對於總分局養後事宜銀切製造局督理陳洛書君以刻下涨渝軍事業已解决對於總分局養後事宜銀切 起進局往各廠群却關查各種機器有何損壞及 一併具報以便核奪陳君擬先府各處損失分

業已成立特務改組情形駐紮地點呈明程都督應省長並函報鄉鎮守使查滌減警察廳長穗杆濟君前奉都督省長命令招集舊部改組警備隊前因改 人編製為臨時警)呈報警察改組編制情形

守衛隊為警備第四隊以隊長湯潮海領之駐紮城內求智書院舊址或司防衛 民懷德盗匪畏威似無須夫奢隊惟喪亂之後敗兵土匪未能立時寒盛幽巡勢 到應當由處長戴核幷案呈請別於合併聲明云云理合呈報縣核儒案再談隊等上下級餉需均自本月一 **儒隊等均於本月一號以後次第改組成立據先後呈報前來應長查核驅制大隊應維持秩序之急需駐守面外時或調遣浦東及鄉僻之地屬動匪查若該署力孤單不得不資響隊以協助廳長是以邊率都督省長命令之後讓先組織署 或資巡邏或择要而扼守或因虛而注視至遮南北一** 晋儒第三除以隊長何楚英領之駐紮西門外西方庵舊址又擴充原有之公署 致不差親往各 隊改組**進警備**第一隊以隊長襲國英領之駐紮南市另挑選舊部長**警**精壯 部警員規畫辦法就原有之警隊擴充名額更復施以陸軍制度即以本廳守衛· 百人合組為 隊點名訓示**資稱整**屬所有選掌改組著儒隊及駐紮地點情形 僧第二隊以隊長徐彦領之駐業開北又擴充原有之警備隊は 常戦地國家大軍雲集 號起支一俟各隊具册

嘉定又將用兵乎

通聲息又據今日午後消息爾有官軍一千文匯報云官軍現命在偵察凱軍之悲動提 人昨晚由蘇州乘專車開抵崑山。包國嘉定使該處屬軍不得與南 **将•京·**

●大軍套件下即卸運入局院後裕順新康新秦三輪各載船載運官軍一千五百人首先到滬入口後旋即東赴衰遠局兵士等即在在該交匯報云日前所傳本星期內將有大隊官軍續行到滬故今農招商局安平輪交匯報云日前所傳本星期內將有大隊官軍續行到滬故今農招商局安平輪 今日午刻到滬停泊下游用駁船數艘每船約載二百 午刻到滬停泊下游用駁船數艘每船約載二百人駁蓮登岸現共有官軍一千三四百人陸續到來亦開往製造局又公平輪船載兵一千五百人於

率此相應遵呈通行券一張到乞查收自本月十六日起並高貴署分署隊諸君署職員來往本廳廳即飭發通行券至廳由衛警處明再行延入以免誤會等因啓看率廳長面識現值戒嚴時代本廳為辦公重地間雜人等不許混入所有外啓者率廳長面識現值戒嚴時代本廳為辦公重地間雜人等不許混入所有外

保存報用是荷專此即頌日級

●律師請緝應桂馨

律師高湖投上海地方檢察廳請求緝拿應桂霉再引渡趙秉鈞等到案關明究結上月廿四號應在監脫述之後此案竟為氷消定解昨午又漢宋臺宋方氏僧 次移傳案中率涉內閣總理趙秉鈞秘書洪遠顧及程經世等不到因此案縣未前農林總長宋敦仁被殺案內要犯應挂磬由上海地方害檢廳訊供收禁並迭

悉以佛國法面傳流笼等情檢察長正腳孫君諭候批示辦理

該應警察以為軍隊組織維持地方較有實力仰該廳長在舊部中挑選精壯·文曰竊率都督省長檄分內開該廳長舊轄警察夙經訓練茲舊軍與之時應 備隊分到即便遊照辦理此合等因率此處長邁即合集 者

风雨市開戰各區秩序稍亂惟本署署

昭昭在人耳目此曾各長警探明大義

順全名譽之所致也乃近査有少數不

机

該長警等照章服務本層

| 公内之事前

云我等領一分新餉自有

一分實任

四區等聚暑張暑

牌示各

排·

頓警規

石堆塞阻止交通外羅兩傍亦堆高墩 最關緊要故將十 人將裏馬路所堆高墩開開一路以便戰戰事即可解決防務已經故傳輸工 人群裏馬路所堆高墩開開一路以 路任人往來現藍君以各處停 來昨已實行矣 六舗裏馬路口用簿

惟華界仍識言蜂起人心向存恐怖各藍纏巡以製造局吳淞等處擊已停戰 探敷名前往各處詳細調查隨時報告該處究竟如何情形仍須偵察故飯幹

動旅之階 孔門之革命學說

前日由隊長帝引到總局領的後刻一前日由隊長帝引到總局領的後刻一 演說孔教之革命見解惟界本大學孟明日星期下午五時聞法界實昌路與明日星期下午五時聞法界實昌路與 之贤也按聖人之徒不諱宮革命而亦子以立言蓋以會孟二子爲孔門傳道 不倡賞變叛其命建在上下交徵允足 為後世法留心暗事者 **為**弗往聆之 遺散龍華警察 土匪擾

宜陳督理發氏命令亦節省經費之 本即開工尚銀設兵防閉警察暫非所 以除民害等情汪應長論候批示辦理學於昨午同投地方檢察廳票請提究 立請淞源警察廳穆廳長飭派警備隊以地方有此不法歷棍實為商民之累以地方有此不法歷棍實為商民之累 先往驻防外 被害之婦人張陳氏姚張氏等僧同談 而該闘地保張季雲又投上海縣公署

值察戰後情形

●整備隊分駐吳淞 知自愛之人竟於上差時假館戸 安坐於隣位之旁以個人之不守書章 勿義玩干谷切切此布 不取關後與望否守規則勉盡職務幸 破壞全體名譽本譽 維持秩序保術商民 長殊為該長四年

千餘元現因涨減戰事已畢所有戰地 外慈善篆観心費助捐数巳達四萬六 公共租界華洋敦灣會成立以來得中 本邑西北鄉三十保七四中何家巷錢 的給小本俾醫生業約計級項已有敷 各處難民均經該會陸續資助回家并 事成績及關支帳目隨後即行刑布云餘無須再收捐級昨已登報布告其辦 華洋救濟會止敗捐款 害鄉民

家灣沈家巷一帯近有土匪沈豊香王 **梁擾害圓圓每遇殷實之家必夤夜擾** 已有多數郷民成長之署虎茲據談處 門入內搶刼得職派分故此被害之家 順剛夏仲周王阿如楊錫蔣等在鄉科

緝. **泽解案轉** 移提案犯

朱金)由十六舖乘車至 毛家弄第一年後兩時有坐車人(即南區邁士周南市華南電車公司三號電車於昨日 區門前院下忽然頻電立時小地量絶

烟 茲因本華戰事已息大局 教定所有禁禁煙局撤散所以禁煙事宜事選中止 ★辦不日即當出示宣布
★源書聚應稳定轉飾各署署分別 今即日継續開辦内部各事が本署第 中旬源城自亂軍。現戰事之際即將 嚴局長開辦之後已届七月有餘上月上海禁烟局自奉上海縣吳知事諭飭. 科經辦至於調查拘捕各節已移歸 事亟應概粒進行業率吳知事論

有十六館裏外各櫃俱由法補房用方有十六館裏外各櫃俱由法補房用方 因源上戦事已定一切交通照常開放・中間出入之路而理情即交通隔斷刻。とは、一個出入之路而理情即交通隔斷刻 各業商號亦次節開市 回其徐家匯及前市董家渡南處天主橋開通以便行人出入而法兵亦即撤 後立即照會法照事於昨日起已**將**裡刻 經南商會接到上海縣吳知事公函 領事撤回所有陸家石橋相門本係法 堂並與法國自來水廠之防兵亦奉法 捕房下鎖現已允即日開通云 ● 道 络照常開通 解期回復市面

900000 0000000000000

阿弟遺衞金因蛋夜銹出用刃戳死虧 諧解解之一器

申**季四**區警署控拐伊

(大阴星)

日.

法體巡藍維護君於製造局開戰後查

暺

礙物

第

百

三

得法界奥華界祇連之處甚多惟十六

看我重新做起 候查傳各失主到紫觀密察先行釘線收禁餘命收 題語辦汪斯

恢司張二二等二名**到** 信昌典當失火嫌疑犯 智察應司法科昨日解 究汪雕長着合收押候 地方檢察廳前包房夥众仲國

昨被工程師朱少沂查知 地方軌道內拋嵌石子法 **至第一分署拘留候解 頭童阻礙行** 緝法廳失 查有江北預量 汚泥阻止行車 短光阻 **聖**租 酒地 毎 即拘住送 界惟數事事 南市 観究 到庭 洋四五

送地方檢察廳凯究 於火重情故山司法長數 然就處隣居忽有匿名場 悉該處隣居忽有匿名場 昌典常失漢一案已將 一干人 證 函 一干人 證 函 一干人 證 函 一干人 證 函

第二十回

嘉慶帝受禪艦

大

統

太

上皇訓政宣

史演義

集二

(敵粒粉)

(一)(写)(九)

(陸士四)

保限求交還女孩今日 潘史氏拐匿當將潘奪 氏至四區都署控稱有 張署長判移檢察廳 拐妻候究 一不交女孩

交檢察廳究追 近 馬夫形 同盜 界

可法署阢阴嚴懲

初級應獲案收押是以應及票拘捕所以衛金因還未改票拘捕所以衛金因還未改票的選先 己由浦東第三

●抗 機 脚 連 排

草,

並

件茲奉第二初級臨將在 有衣服二十一件木箱一 有衣服二十一件木箱一 六十六件當票四張承攬 六十六件當票四張承攬 雙喜豬漢江與阿大王 倪氏張徐氏等專在開始 小貴子倪小五子褒大 解漢盜賊 長筋粉質 柳子 所送地方檢察 四張庚帖 犯先後拘 押各職暫存 24 匪臭实際意 之整犯吳雲 等處搶切物 枚以及鎖 鍾順清陳 匹婦隆 **太物** 獲

● 匿名揭帖 大馬頭信

由無御事同麥兒母 **繫來滬前日** 前日期

筲

知

行。

露。

移提斯案叭餅 將所少之洋如數母 於乙醇院經歷歷 與 對原臟惟少現洋一

之洋如數磁案給原告具領

磨形同签账判押

限三天

特有鉅於之說而安亂軍之心流傳所及報紙亦有入其立中以致登載與事實等價陷盛氏之言均係黨人有意造作一可離間盛與政府之感情二可以藉盛時而開盛有發助鉅數之事時而開盛如不允發助即將數其財產等事茲悉此時絕客以免暴烈分子之經擾閱黨人恨之甚深南京獨立時即散播種稱謠言來年衰多病中央會經招之進京亦未能往自責陳等人謀九江獨立後盛即閉神州報館執事足下頃見八月十三日貴報所登亂黨計陷盛宣懷氏自靑島歸神州報館執事足下頃見八月十三日貴報所登亂黨計陷盛宣懷氏自靑島歸 **膳傳聞失賞貴報館旣** 四號七月二十一號七 城作為更正之據此頭撰獻 相反者此時上海亂事已定廢氏無與亂黨往 兵之事亦已大白後此當不致再有此等失實之歡矣等語異見貴報前於五月 一號七月三十 一秉 大公知是亂 號八月一 號所勞徹處各節均與事實相反係 來及賣助景項電漢阻止局點運 應即將徹此此兩再為登



來。州,之。可。以。滬路。尚。人,以。由。南 南。 屬安全無 由 戴: 蘇。 海, 嘉 _ 粒, 定而 起。 ım • 吳淞而 黨人以。 崑山 恙故 不。 即 ul. 一定以致**驚肌者**亞而蘇州流館所及 余謂 置山 能戰名者莫如松軍之鈕 派兵躡其。 mi 嘉定則 兵。 之。去。 平南方 及影響 **尤其野** 亂。必。心。 如。 事。大。 派。 所。 爲。 鐵。 發生蘇 何。 阻。 前 其。

1 觐 部

妻楊氏率判移問步舞扭曹善 駕,王。每 郡。麼。和 () 公。 到風和 巡。 王。和 玶 道。 巴 答。 驅。 。年 幸。 圖回兩。說 III o 你 木, 公笑回。 日。 巴王 蘭 暖 個 不。 海 海 公馬身 很要好巴王有一頭駿馬海公也知紀的道那年海公還在京宴當 大氣沙 公與巴王都扈着 知道他紀的道海 你 雄駿較起 平, 不。 草後地 答應。 方兩個兒, 來巴王 公盗馬的 蹕 到 巴王要跟 個兒 上。 事公相 我 也。當有。侍 有。 本。 E 點。 馬。 這年。此就 而。 頭。與 有。 果。呣。 殿。蒙。知。馬。古。道。 人。騎。 派。來。海

洋玉元充公歷異館機 公堂凯明官判張制洋拾元餘人各翻 阿仁王喜之王桂肅許阿三等開燈吸 食鴉片被探查見一併拘入擔房昨解 引翔 推附近屋内私設烟具容留植 寧吊存物 房如果 了。你 有。人。 人。到看海 海 公營裏 歸告知巴王巴王傳 **徐**馬只見 倦意。 財馬獨 命 當見 守營. 立っ 帳內外 不。 外。 大呼 敢 荒 等 地

守。了。喊 兵。原 聲 出。來,如 惠。了。界,知。來,齡,高裏,我。金。 的,可。倒 女。以。是。 了○不。人。 平畴。 還。有 子。 下。都。 你把。 侍衛 呢。 言。 去世 政馬贈給了他和坤還要說話高 喜的是鋪張鋪張得 猖獗, **鳥合之衆沒有陣** 兵出了。 霎時聞 俟。 在 憚 語。 **壻**,用 記 來海 宗 道 組比 老 頭 你。 額 道。 致。 路。 眞 的 宗點頭道你這 暇 提醒了 人恁是如何。 似 的。 依子, 走明 到次 雷營中馬匹盡都逃出等 匪。 仁宗 很容易的不 談天你們也 宜。 各級齊 這 得。 太瞧的輕 竟 仁宗道明亮還 旨 不 糊塗 亮躬。 品愚見暫 那 仍 道。 海公就盗馬飛行次日 亦年老貴**妃**沒一 於道明亮還可 仗。 勤 舊責他 竟 照 巳必要派人 行泥 得。 整。 額勒 法不 呼捉賊 在 夷敵國何必定要智 子臣下見教匪不過是。 望。 仁宗。 智勇這會子 過一 太自在了 見解。 利害 了。不 巴王帳後却 命。辦軍。理。 宛若 可不必派人 安略 淖做异。 登保 大。 知 衆 頗 70 行。 現 之後遭難地。 時 爲有。 自己。 人化 兩 疆。臣。 略, 白蓮教 個人 用 都 會 突的獨導有 正。 只消派兩 恆 移葬東陵途中。 劫。 和 瑞 辦。 神紀的 宗早已 理只現 以以表 到追回 終。 好。 都 Ξ» 麽高宗 似乎都 明。亮。 就貴成 相見 理; 也。 湖 之。 沒用。 苗 都 麼 帳追赶此 是封疆大 總督 仁宗道。 巴王服。 雙全。 那 聽。 的 在。 · 頭驗馬已經不見 吾壻, 不。 道 時光。 軍 未**便抽** 還 學流湖 之。贼。 務, 明亮是 從。 要。過。 不。 四 令的鞭杖交 空 您 您 你 你 別 止 住 道 。 倒可。 液液。 他智勇就把。 竟忘了。 真。將, 民恁他 時。 戰。 調·遺,很 督·誰。好。陣。總,明 高 有。撫,去。的。的,不。 亮。宗。閱。限 好。撫,人。過。 很。道。歷。日。呢。恤。員。是。 **差他如何。** 吏賊 心已經不見。 哈答宴答外。 限 馬賊逃走 將高 臣 大· 华。 业数 履。親, 日·北。 廟·巡。 脛昇夫。 以。 習氣最 數。爺·人 質·的。道 香·馬。煩 在。他。 脫。 夜。 宗道。 撫。却。他。 可 王。